

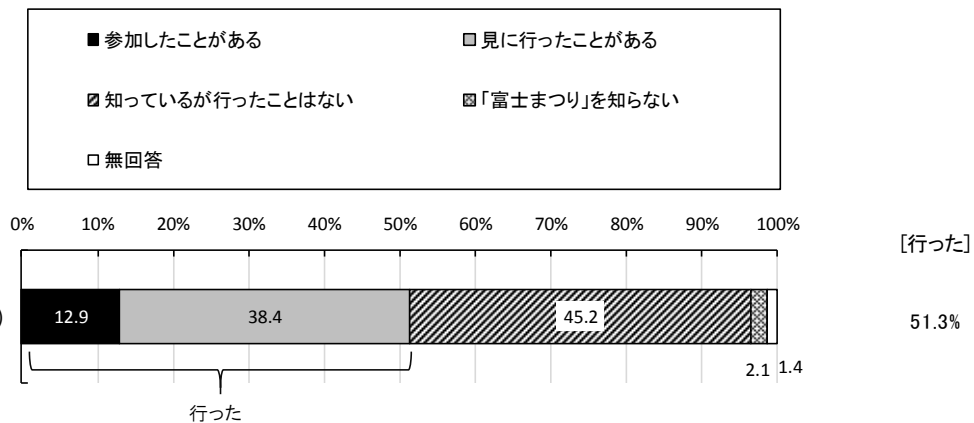
IV 調査結果

「富士まつり」について

「富士まつり」について

(1) 過去5年間の参加状況

問1 過去5年間に「富士まつり」に参加、もしくは行ったことがありますか。
次の中から1つだけ選んでください。



過去5年間の「富士まつり」への参加状況について尋ねたところ、「参加したことがある」は12.9%、「見に行ったことがある」は38.4%で、「参加したことがある」と「見に行ったことがある」を合わせた“行った”は51.3%となっている。

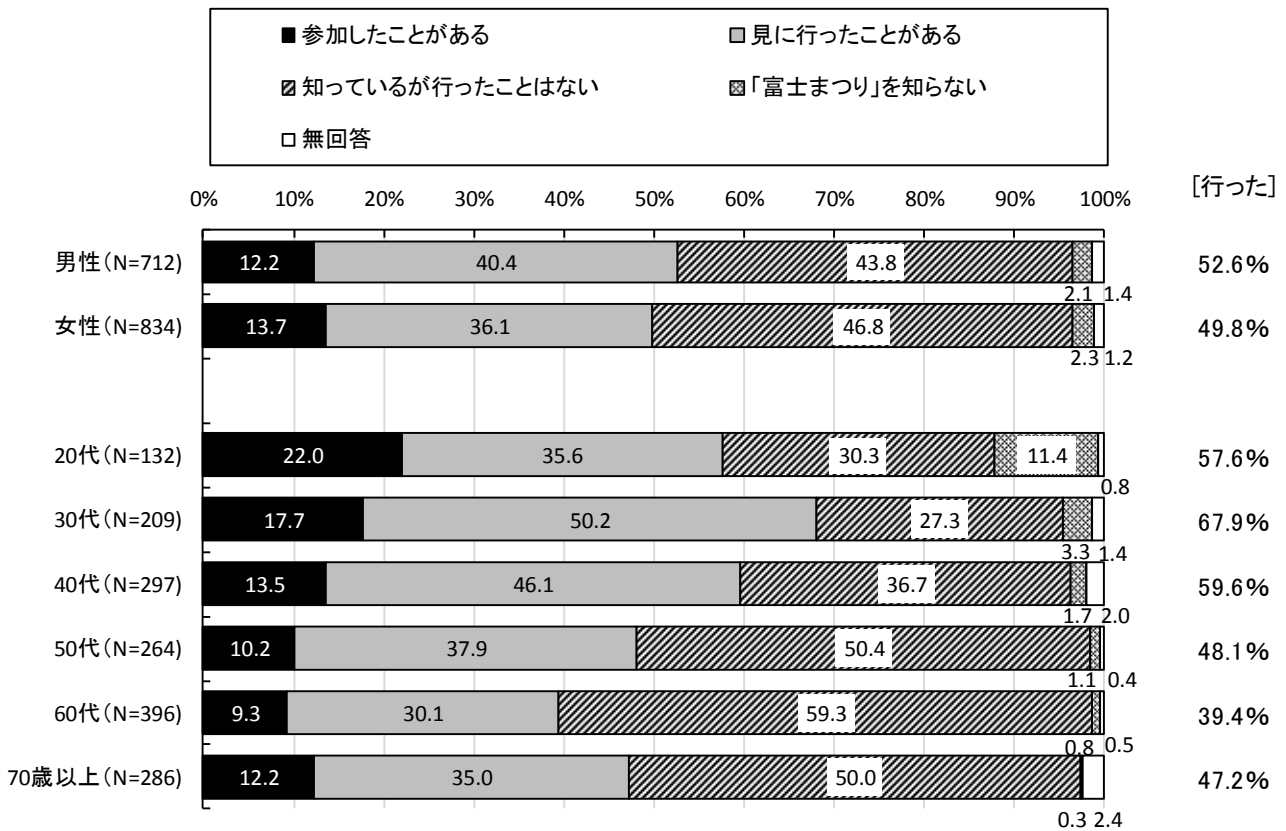
一方、「知っているが行ったことはない」は45.2%、「『富士まつり』を知らない」は2.1%となっている。

IV 調査結果

男女別に見ると、「参加したことがある」と「見に行ったことがある」を合わせた“行った”は男性が52.6%、女性が49.8%で、男性のほうがやや高い傾向となっている。

年代別に見ると、「参加したことがある」は20代が最も高く22.0%、次いで30代が17.7%となっている。「見に行ったことがある」を合わせた“行った”は30代が最も高く67.9%、次いで40代が59.6%、20代が57.6%となっている。一方、『富士まつり』を知らないは20代が11.4%を占めている。

【性別・年代別】

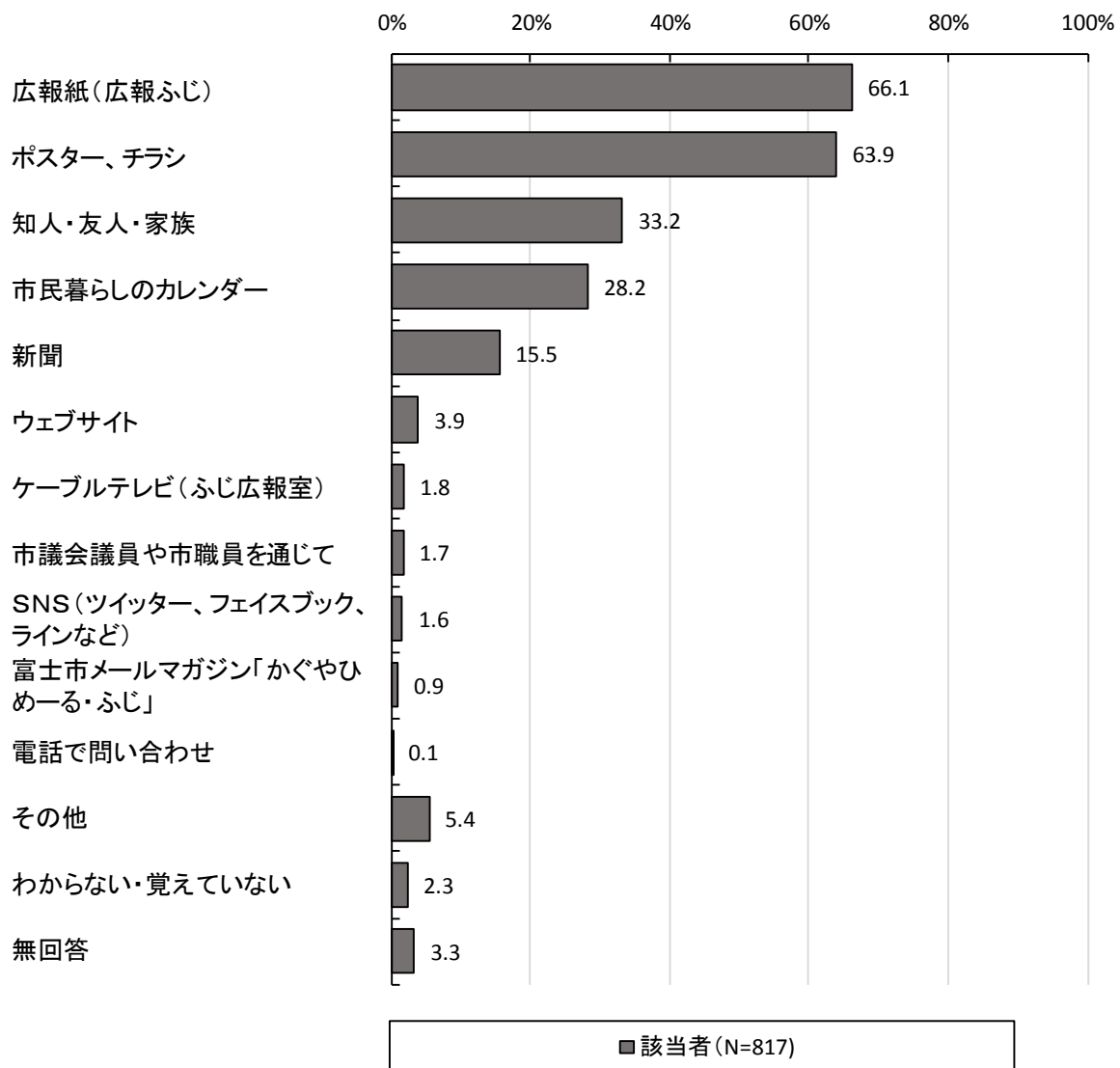


〈問 1で「1 参加したことがある」「2 見に行ったことがある」と答えた方に質問します〉

(2) 開催についての情報源

問 2 「富士まつり」の開催を何で知りましたか。

次の中から当てはまるものを全て選んでください。(M. A.)



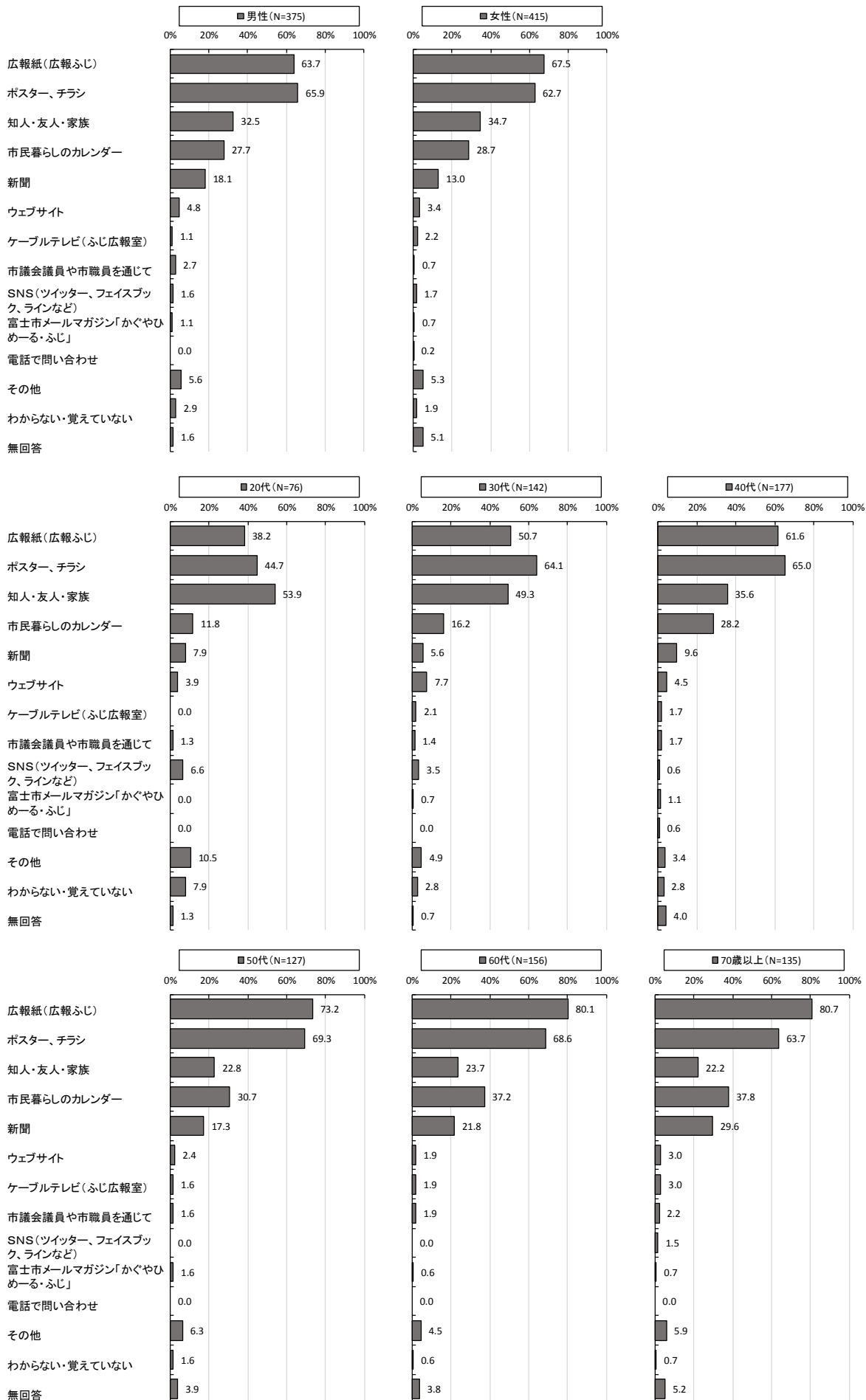
「富士まつり」の開催の情報源について尋ねたところ、「広報紙(広報ふじ)」が最も高く 66.1%となっている。次いで「ポスター、チラシ」63.9%、「知人・友人・家族」33.2%と続いている。

男女別に見ると、男性は「ポスター、チラシ」が最も高く 65.9%、女性は「広報紙(広報ふじ)」が最も高く 67.5%となっている。

年代別に見ると、「広報紙(広報ふじ)」と「市民暮らしのカレンダー」は年代が高くなるほど割合が高くなっている。若年層は「知人・友人・家族」の割合が高くなっている。

IV 調査結果

【性別・年代別】



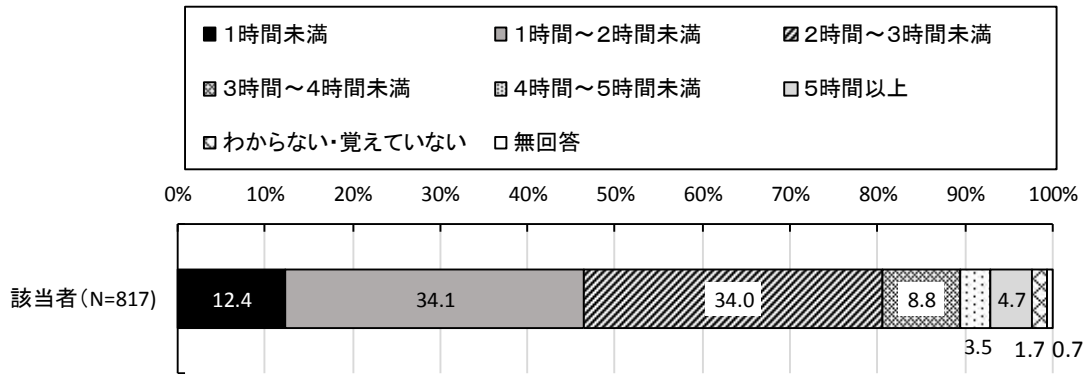
＜問 1で「1 参加したことがある」「2 見に行ったことがある」と答えた方に質問します＞

(3) 会場の滞在時間

問3 「富士まつり」会場の滞在時間は何時間ぐらいですか。

次の中から1つだけ選んでください。

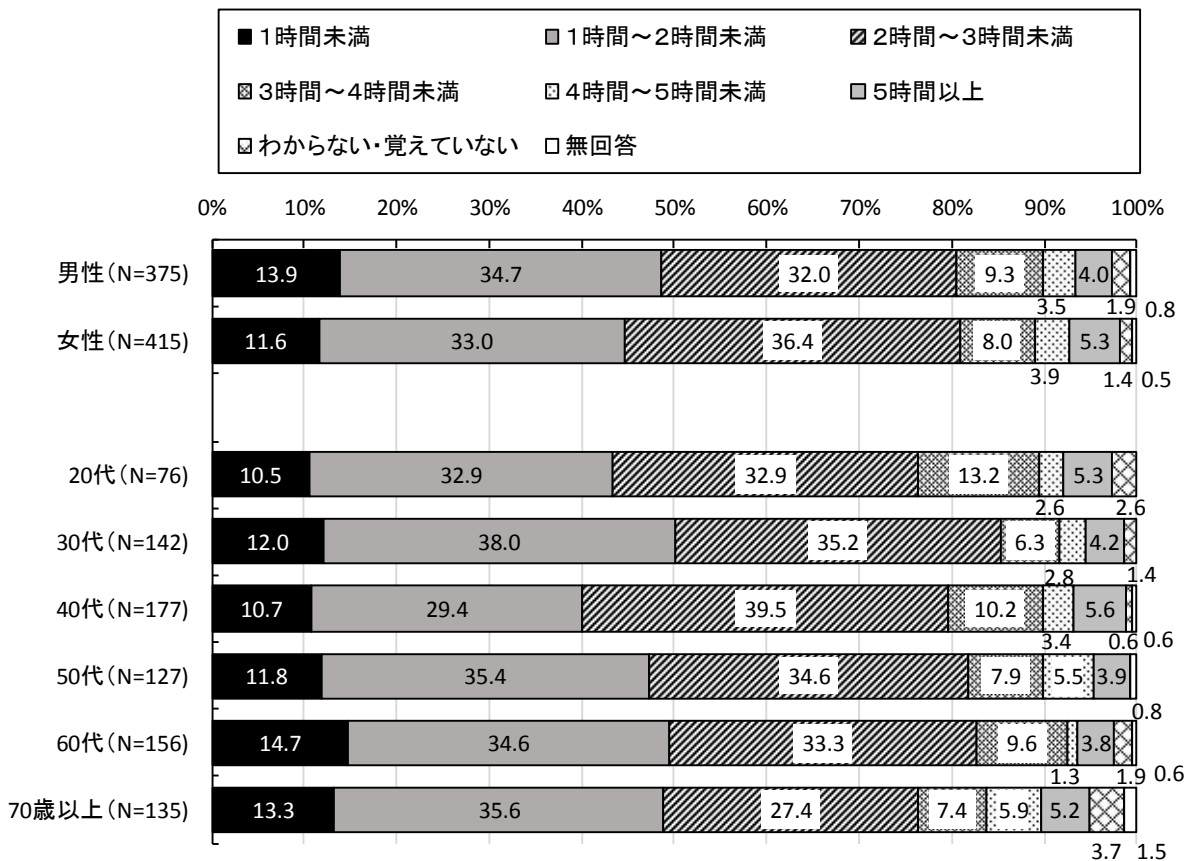
複数回行ったことのある方は、最近のものをお答えください。



「富士まつり」会場の滞在時間について尋ねたところ、「1時間～2時間未満」が34.1%、「2時間～3時間未満」が34.0%と高くなっている。

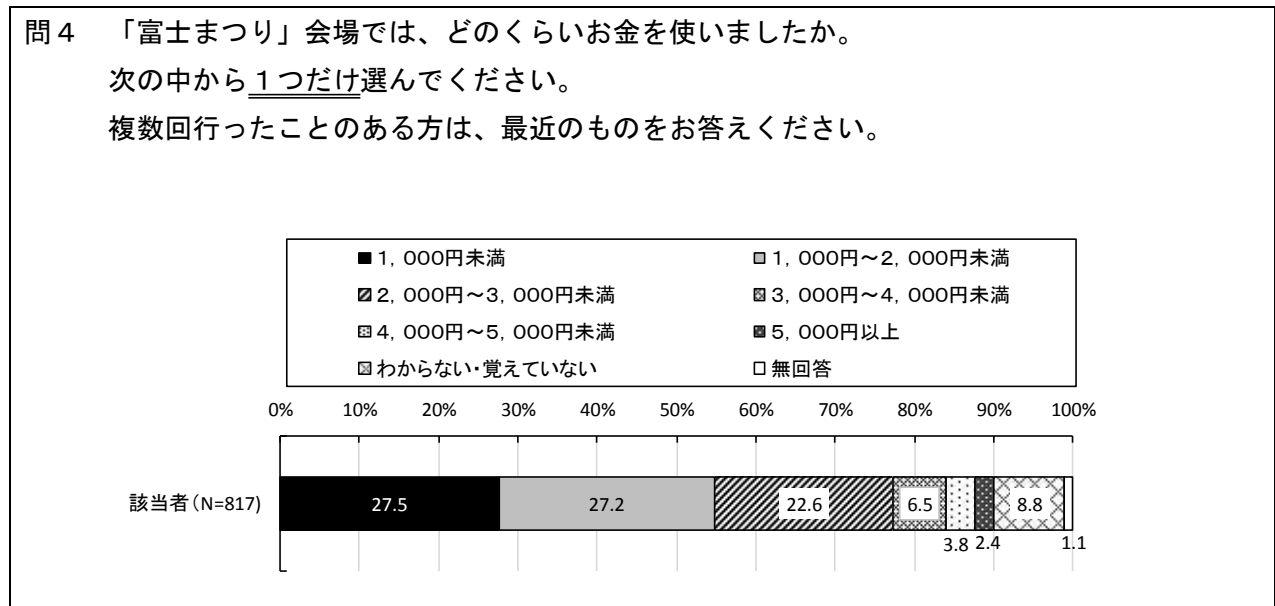
男女別、年代別に見ても「1時間～2時間未満」「2時間～3時間未満」が中心となっている。

【性別・年代別】



＜問 1で「1 参加したことがある」「2 見に行ったことがある」と答えた方に質問します＞

(4) 会場で使った金額

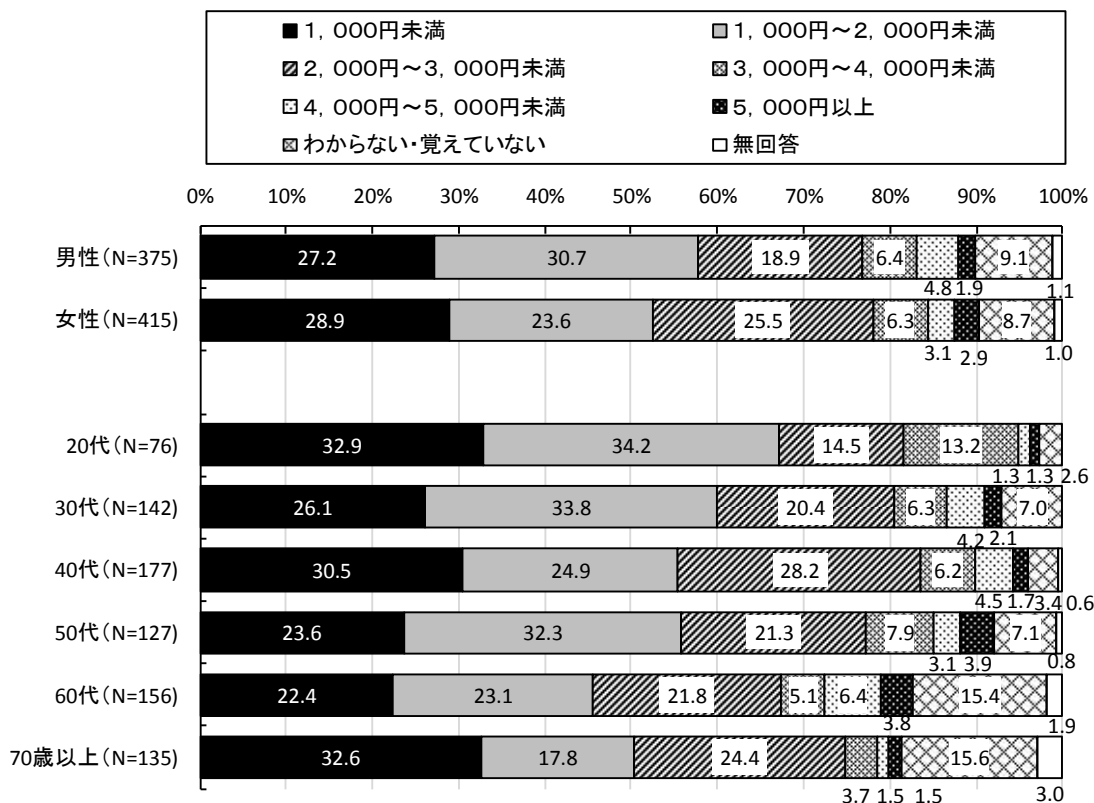


「富士まつり」会場で使った金額を尋ねたところ、「1,000円未満」が27.5%、「1,000円～2,000円未満」が27.2%、「2,000円～3,000円未満」が22.6%となっている。

男女別に見ると、男性は「1,000円～2,000円未満」が30.7%、女性は「1,000円未満」が28.9%と高くなっている。

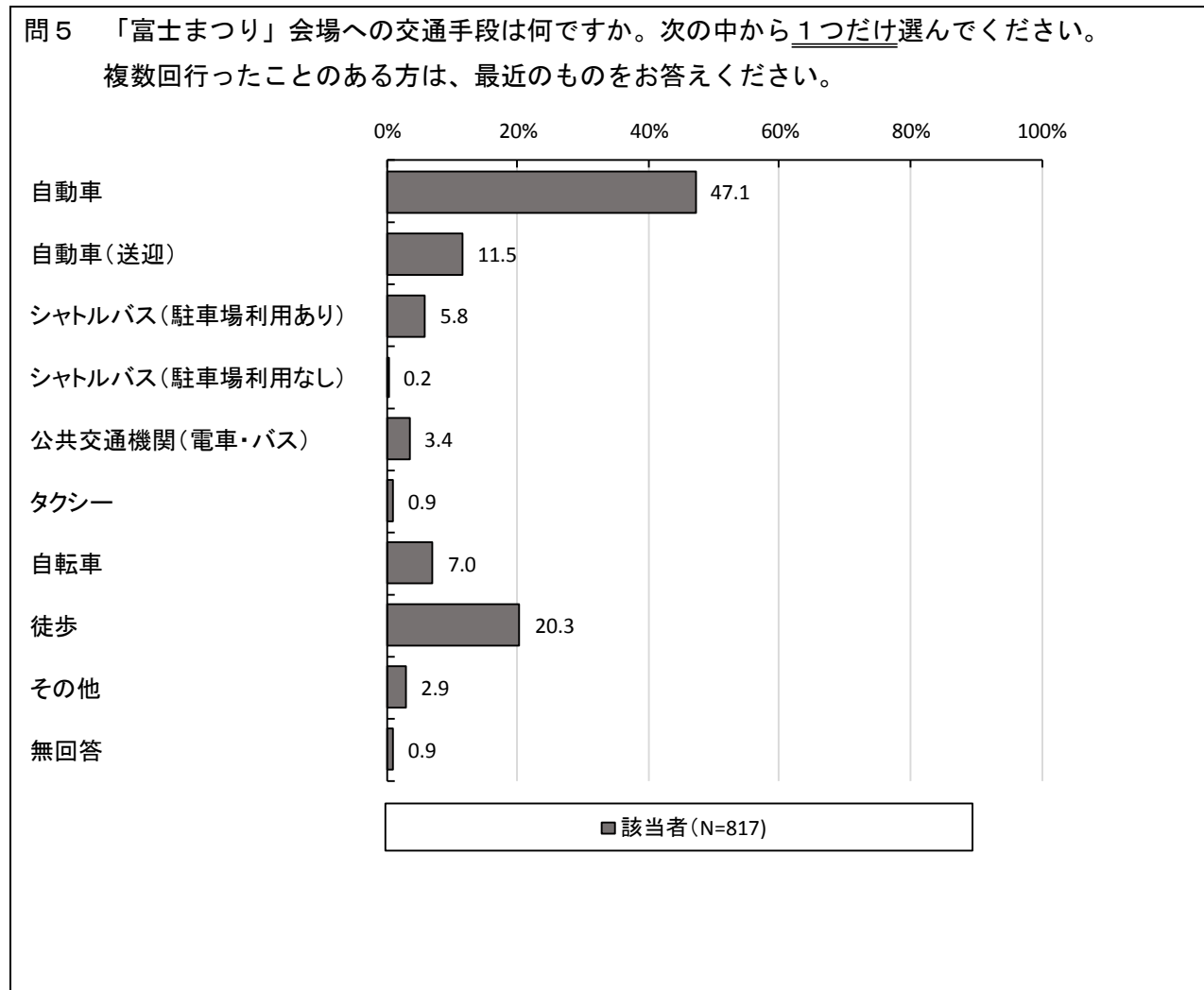
年代別に見ると、40代と60代は「2,000円～3,000円未満」「3,000円～4,000円未満」「4,000円～5,000円未満」「5,000円以上」を合わせた割合が約4割を占め、高い傾向が見られる。

【性別・年代別】



<問 1で「1 参加したことがある」「2 見に行ったことがある」と答えた方に質問します>

(5) 会場への交通手段

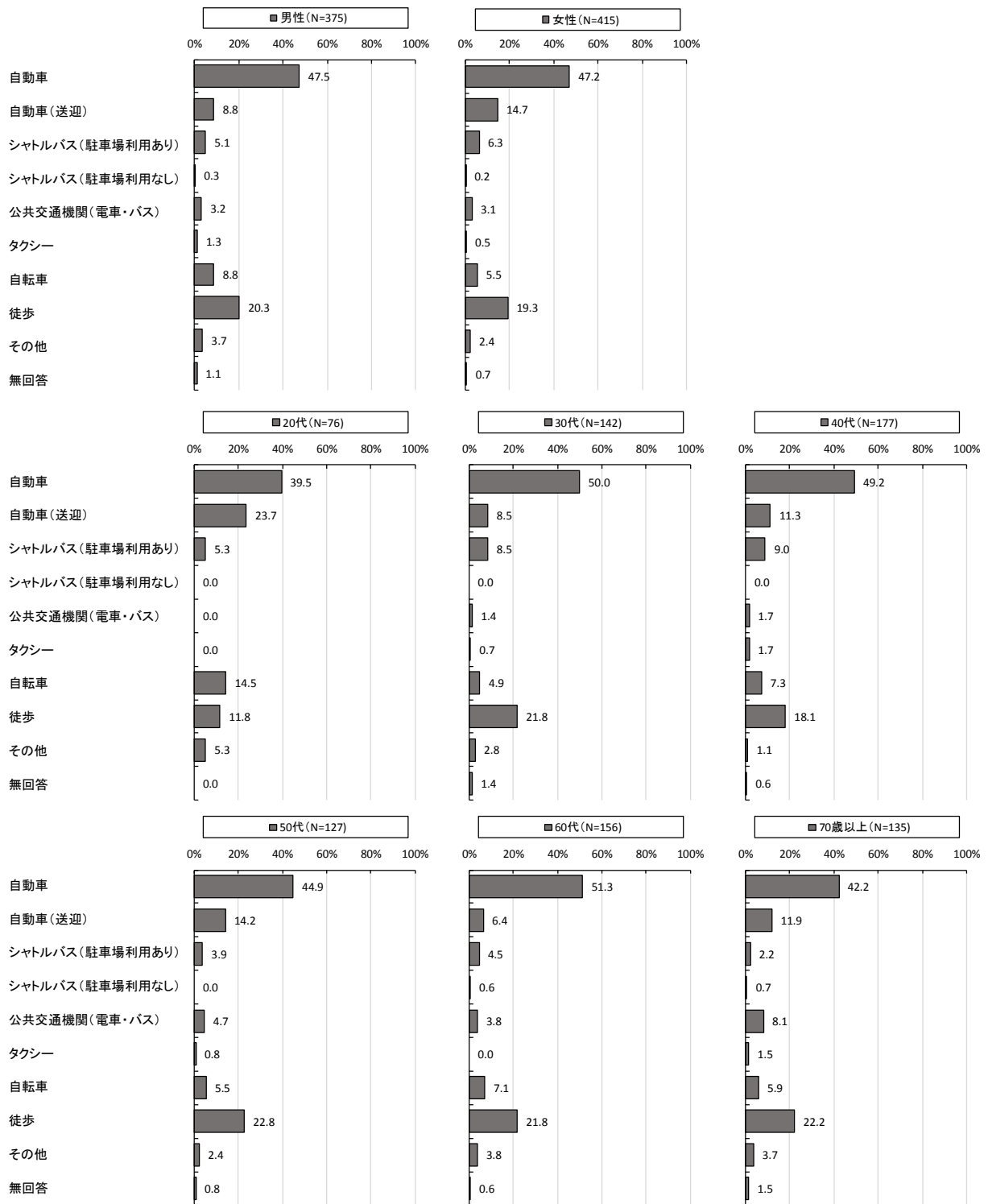


「富士まつり」会場への交通手段について尋ねたところ、「自動車」が47.1%と最も高くなっている。次いで、「徒歩」20.3%、「自動車(送迎)」11.5%となっている。

男女別、年代別ともに、「自動車」がトップとなっているが、「自動車(送迎)」は、男女別では女性が14.7%、年代別では20代が23.7%と高くなっている。また「公共機関(電車・バス)」は年代が高くなるほど割合が高くなっている。

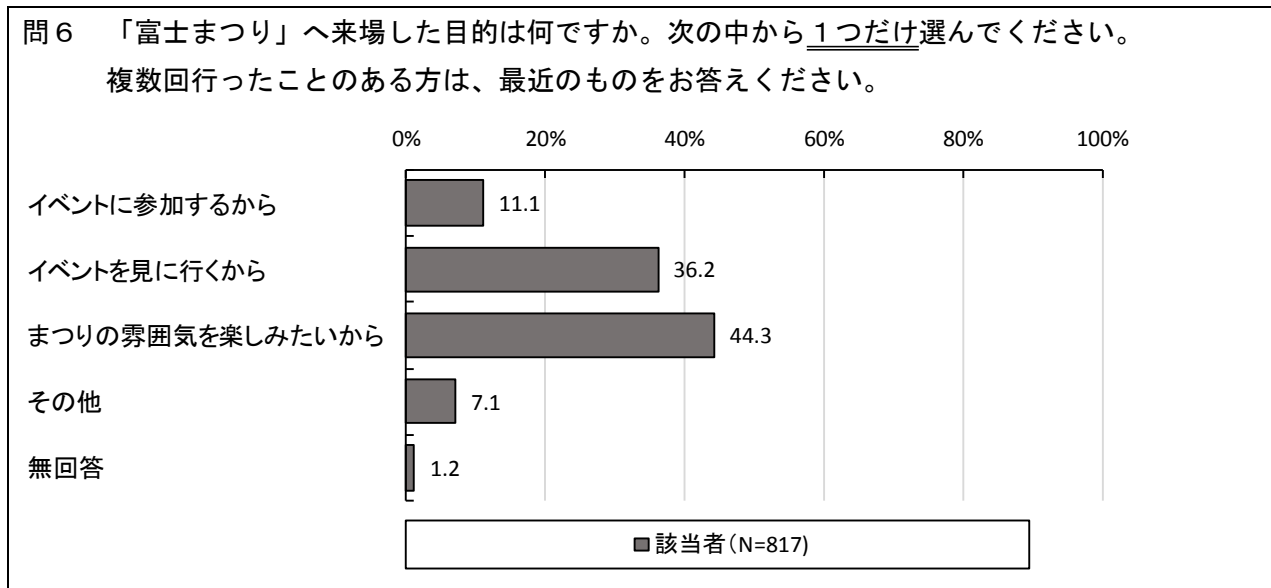
IV 調査結果

【性別・年代別】



<問 1で「1 参加したことがある」「2 見に行ったことがある」と答えた方に質問します>

(6) 来場した目的

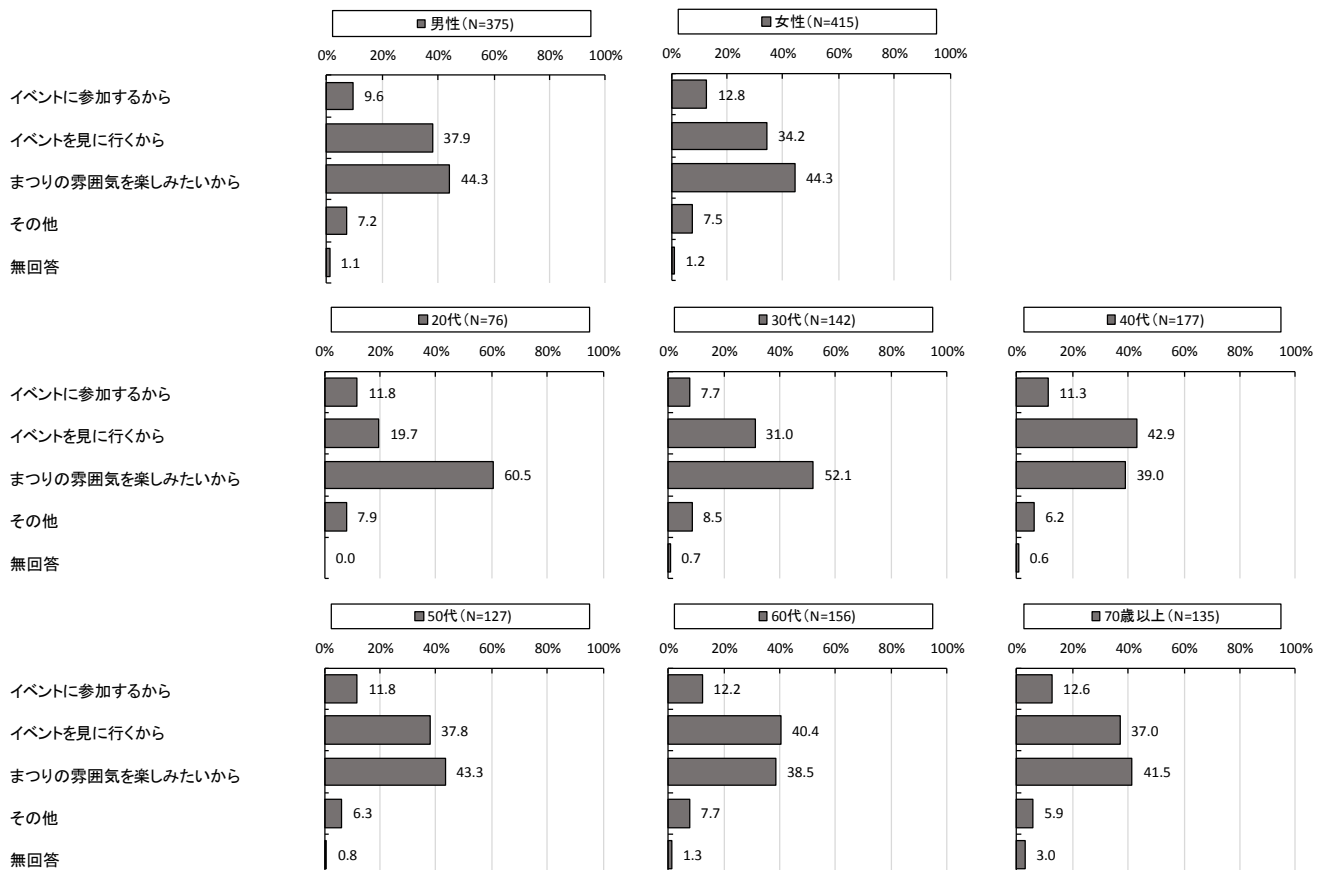


「富士まつり」へ来場した目的について尋ねたところ、「まつりの雰囲気を楽みたいから」が最も高く 44.3%となっている。次いで、「イベントを見に行くから」が 36.2%、「イベントに参加するから」が 11.1%と続いている。

男女別に見ると、男女間で大きな差は見られない。

年代別に見ると、20代は「まつりの雰囲気を楽みたいから」が 60.5%と高くなっている。

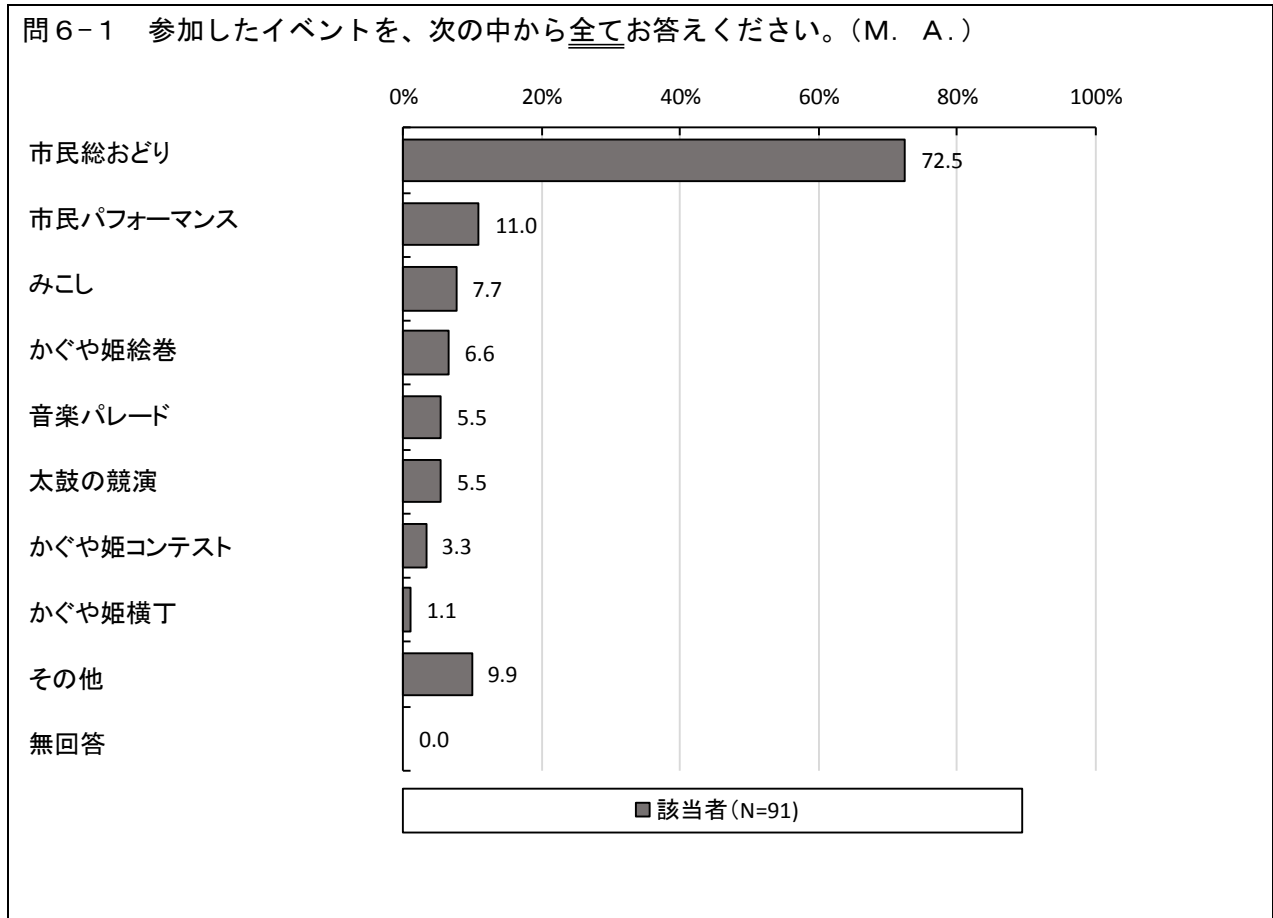
【性別・年代別】



<問 1で「1 参加したことがある」「2 見に行ったことがある」と答えた方に質問します>

<問 6で「イベントに参加するから」と答えた方に質問します>

(7) 参加したイベント

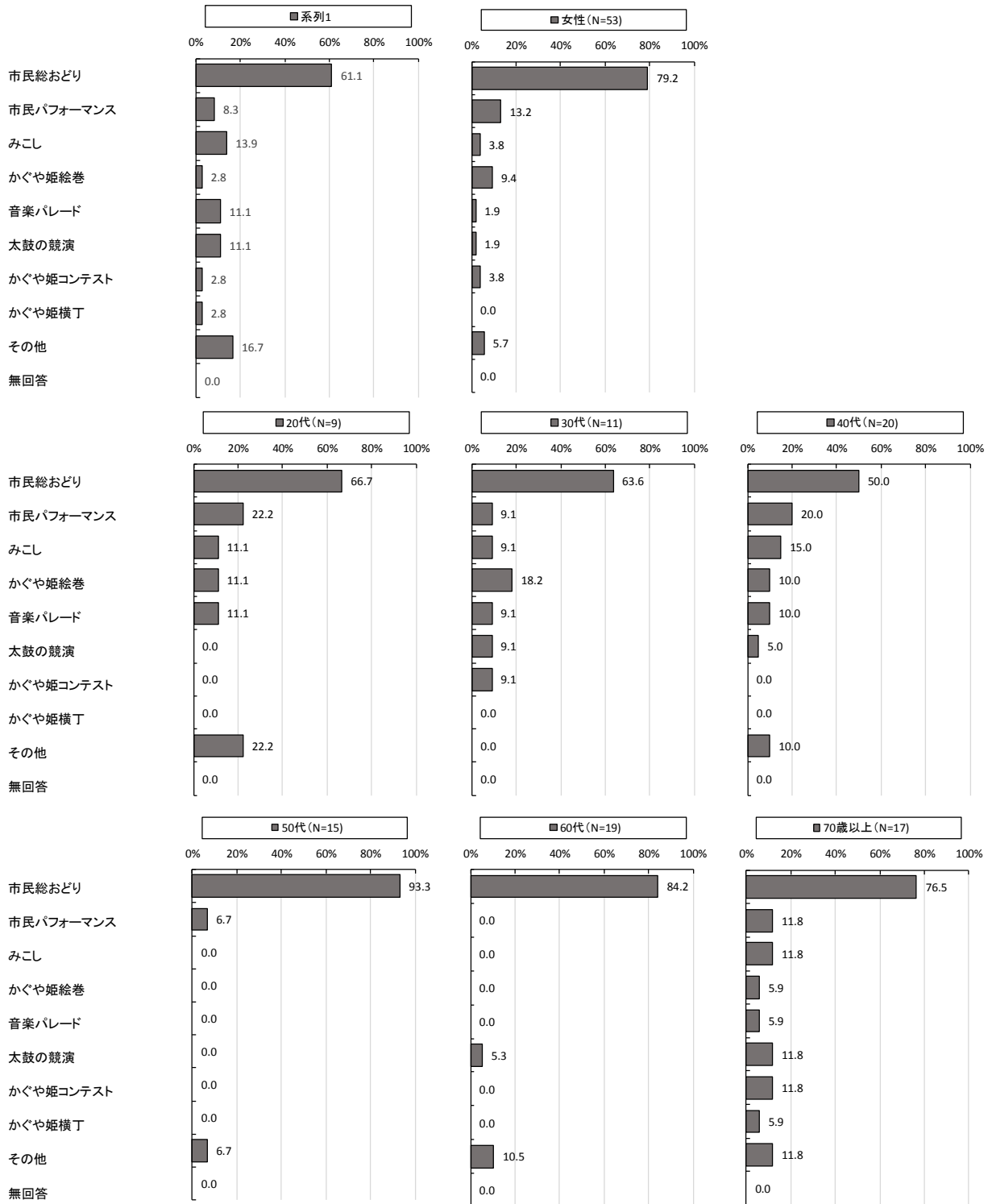


参加したイベントについて尋ねたところ、「市民総おどり」が最も高く 72.5%となっている。

男女別に見ると、「市民総おどり」は女性が 79.2%、男性が 61.1%となり、女性が男性より 18.1ポイント高くなっている。

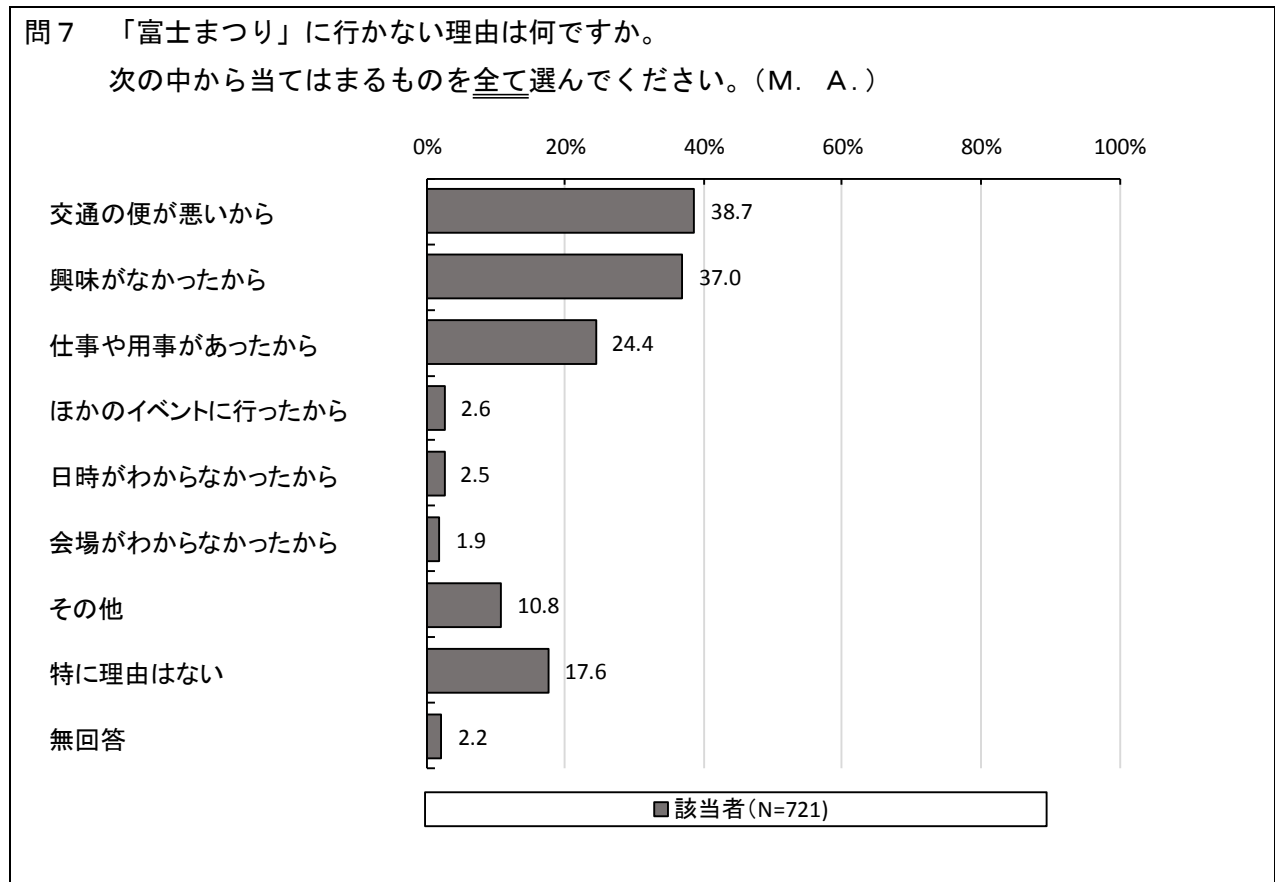
年代別に見ると、「市民総おどり」は、50代が 93.3%と最も高く、次いで60代が 84.2%、70歳以上が 76.5%と高くなっている。

【性別・年代別】



<問 1 で「3 知っているが行ったことはない」と答えた方に質問します>

(8) 会場へ行かない理由

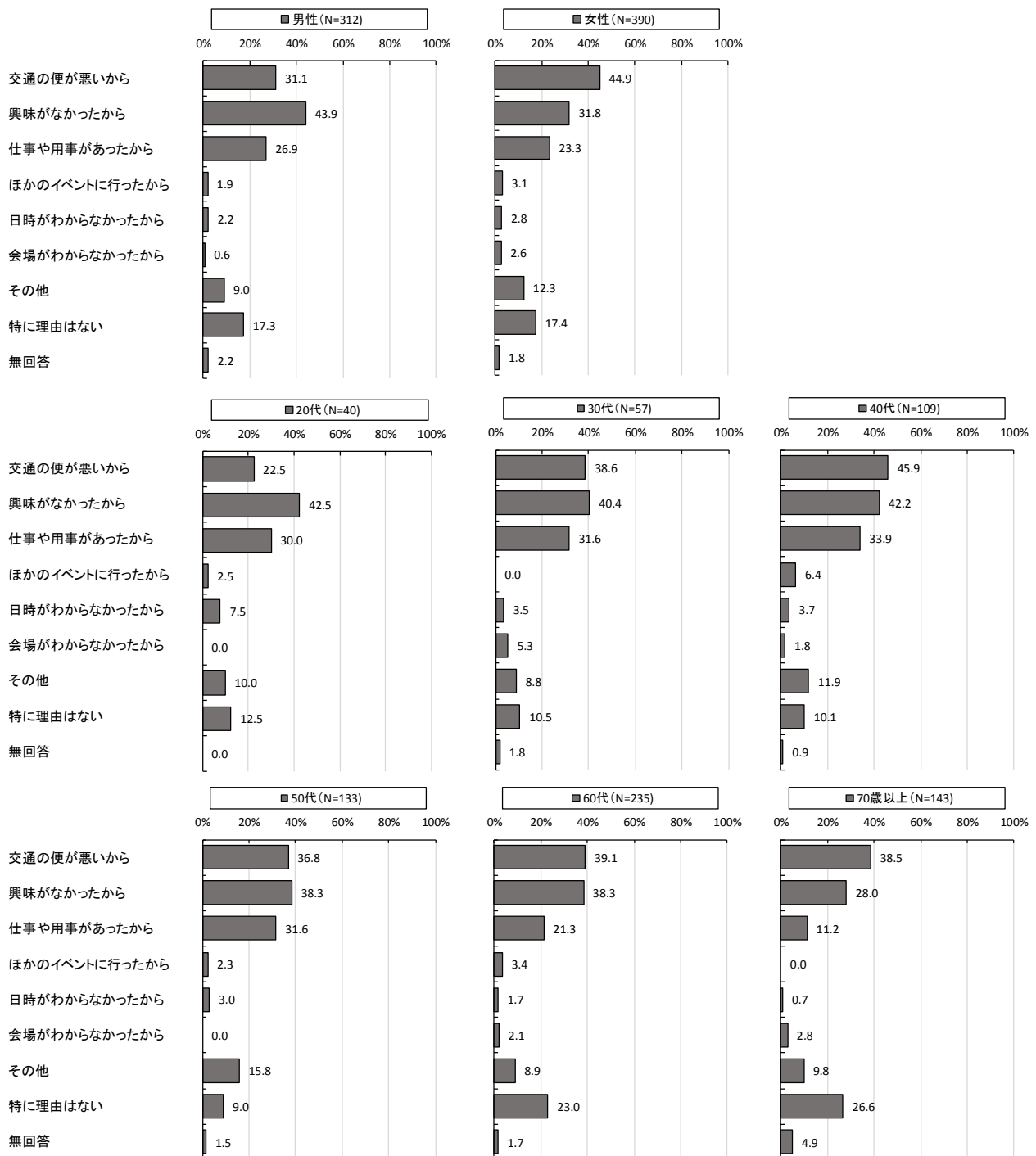


「富士まつり」に行かない理由を尋ねたところ、「交通の便が悪いから」が最も高く 38.7%となっている。次いで、「興味がなかったから」が 37.0%、「仕事や用事があったから」が 24.4%となっている。

男女別に見ると、「交通の便が悪いから」は男性が 31.1%、女性が 44.9%となり、女性が男性より 13.8 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、40代・60代・70歳以上は「交通の便が悪いから」が最も高く、20代・30代・50代は「興味がなかったから」が最も高くなっている。

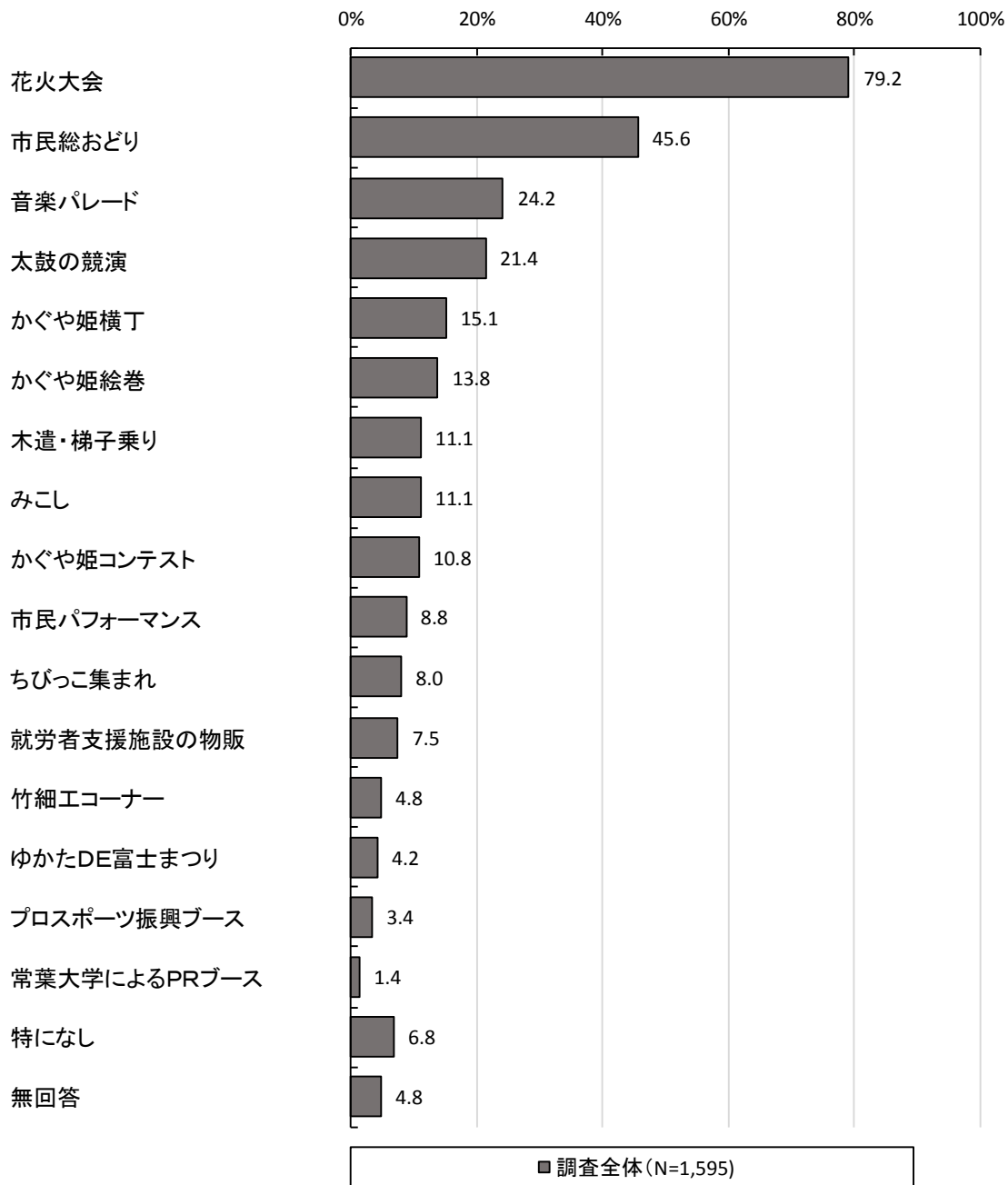
【性別・年代別】



(9) よいと思うイベント

問8 過去の「富士まつり」のイベントについてお聞きます。

(A) よいと思うまたは興味があるイベントを、次の中から3つまで選んでください。(M. A.)



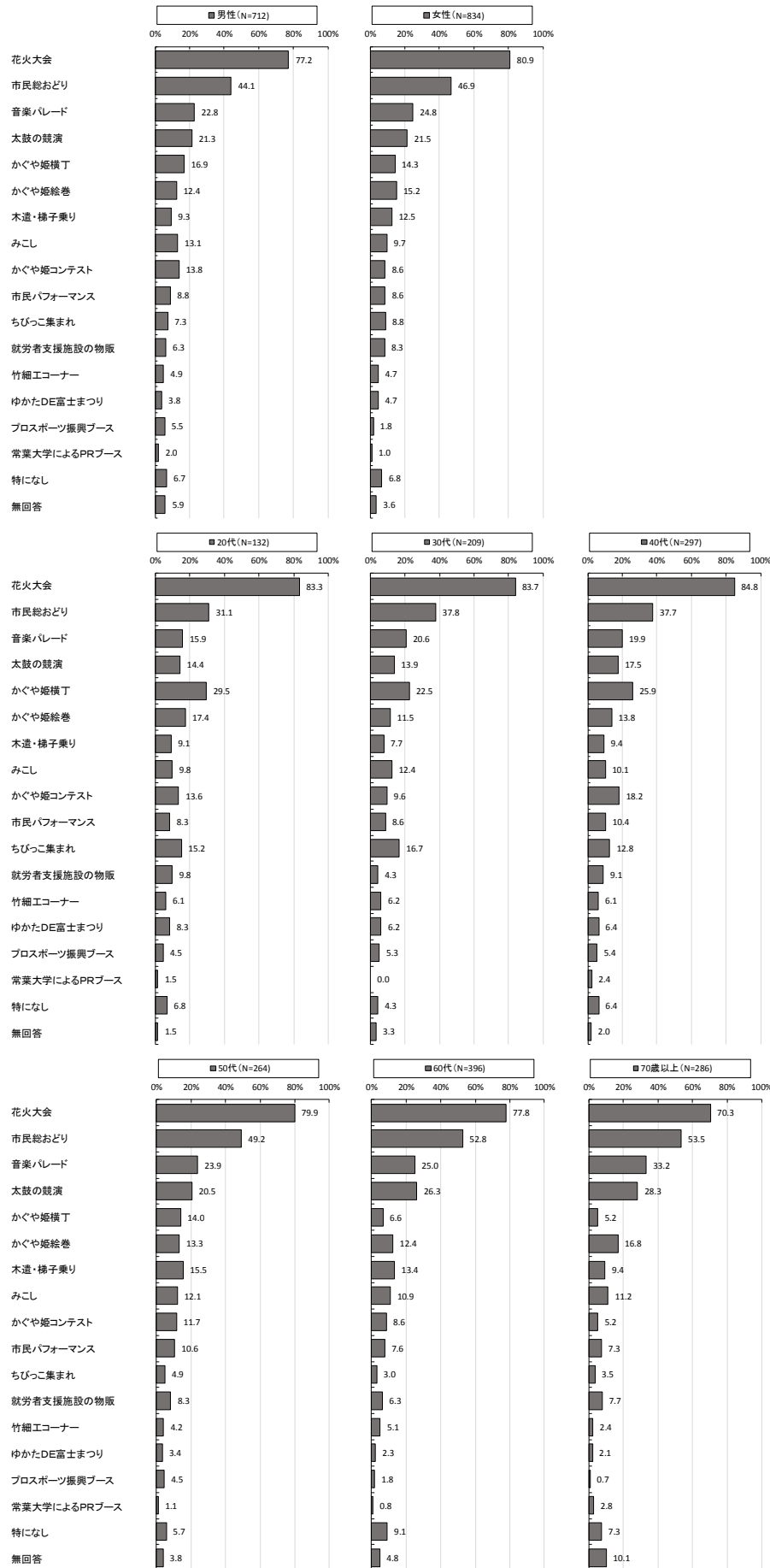
「富士まつり」のイベントについてよいと思うまたは興味があるイベントについて尋ねたところ、「花火大会」が最も高く 79.2%となっている。次いで、「市民総おどり」45.6%、「音楽パレード」24.2%、「太鼓の競演」21.4%と続いている。

男女別に見ると、「かぐや姫コンテスト」が男性は13.8%、女性は8.6%と、5.2ポイント男性が女性より高くなっている。

年代別に見ると、「市民総おどり」は年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にある。

「かぐや姫横丁」は20代～40代が3番目に高くなっている。

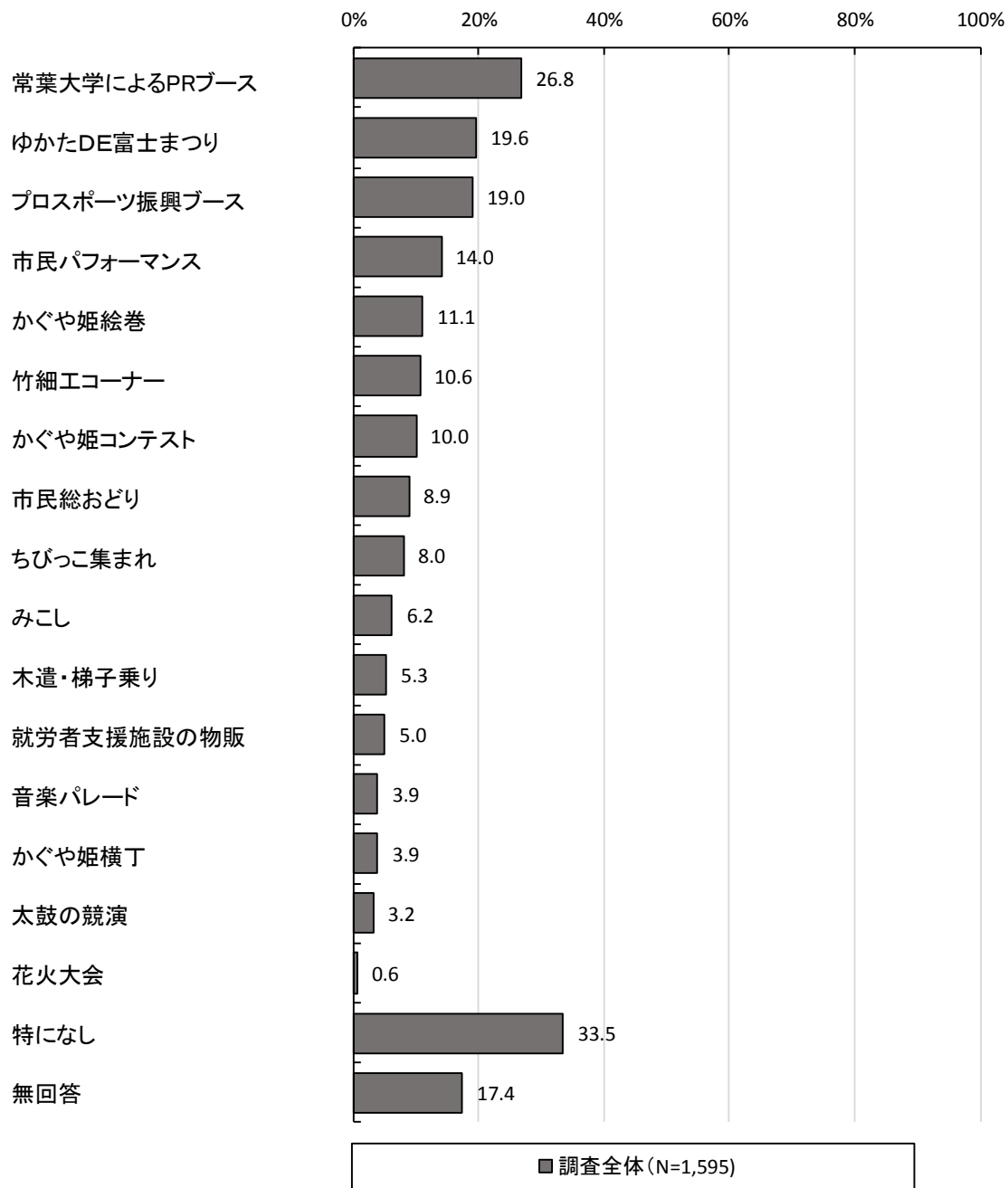
【性別・年代別】



(10) 興味のないイベント

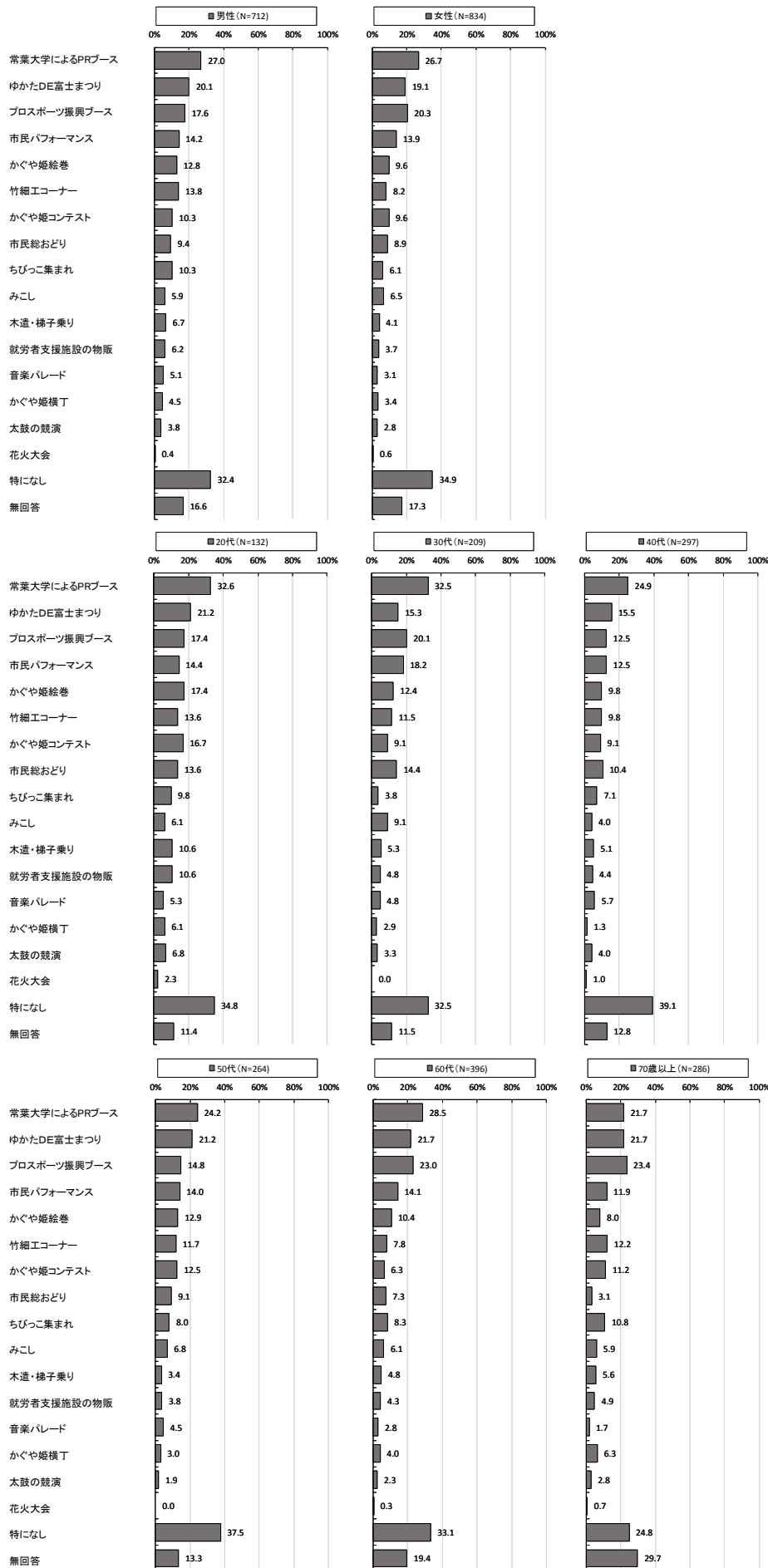
問8 過去の「富士まつり」のイベントについてお聞きします。

(B) 興味のないイベントを、次の中から3つまで選んでください。(M. A.)



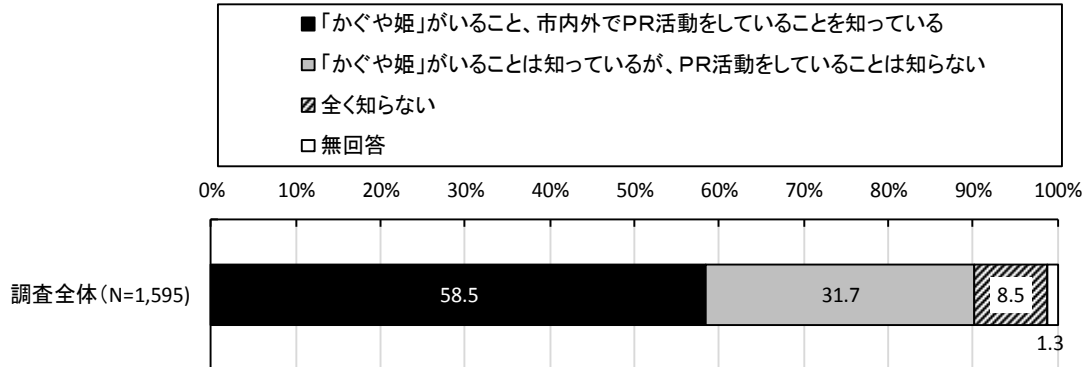
「富士まつり」のイベントについて興味がないイベントを尋ねたところ、「常葉大学によるPRブース」が最も高く26.8%となっている。次いで「ゆかたDE富士まつり」が19.6%、「プロスポーツ振興ブース」が19.0%となっている。

【性別・年代別】



(11) 「かぐや姫」のPR活動について

問9 「富士まつり」では、毎年「かぐや姫コンテスト」を実施し、観光PR大使である「かぐや姫」を選んで、市内外でPR活動をしていることを知っていますか。
次の中から1つだけ選んでください。

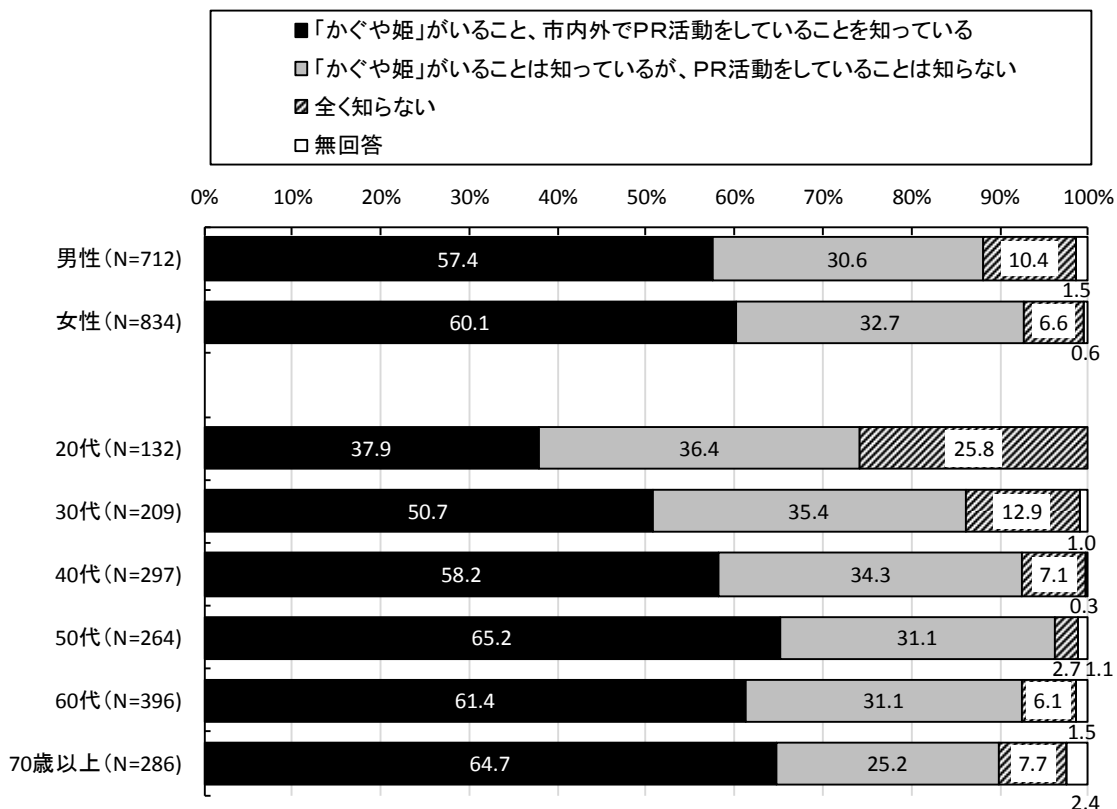


過去の「富士まつり」のイベントについて尋ねたところ、「『かぐや姫』がいること、市内外でPR活動をしていることを知っている」は58.5%、「『かぐや姫』がいることは知っているが、PR活動をしていることは知らない」は31.7%となっており、「かぐや姫」の認知度は、約9割となっているものの、PR活動の認知度は約6割にとどまっている。

男女別に見ると、「『かぐや姫』がいること、市内外でPR活動をしていることを知っている」は男性57.4%、女性は60.1%となり、女性が男性より高くなっている。

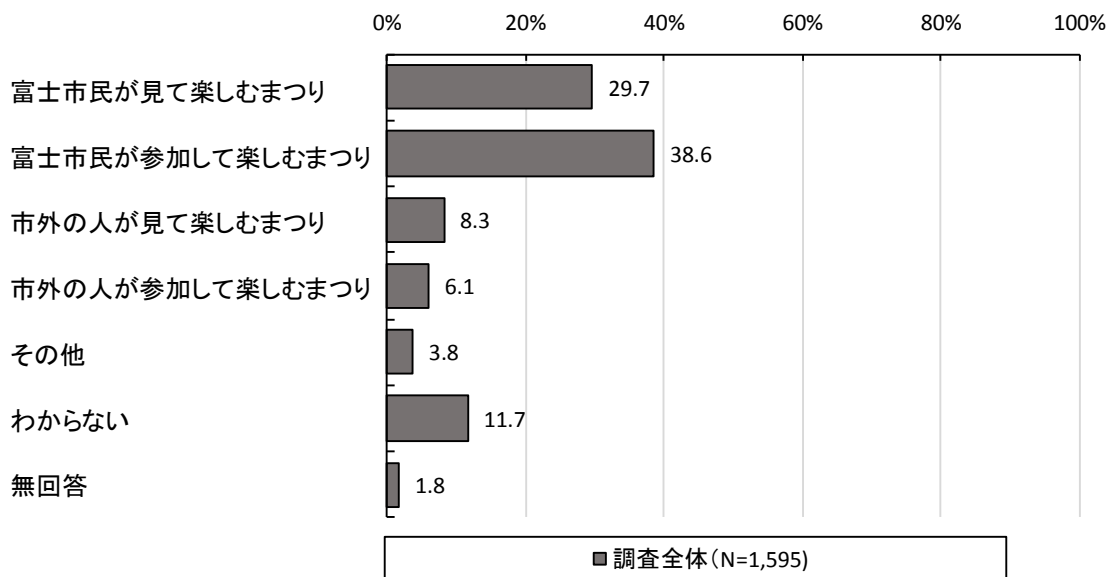
年代別に見ると、20代は「『かぐや姫』がいること、市内外でPR活動をしていることを知っている」が37.9%となり、他の年代と比べ低くなっている。

【性別・年代別】



(12) これからの運営への考え

問10 これからの「富士まつり」をどのように運営したらよいと思いますか。
次の中からあなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。



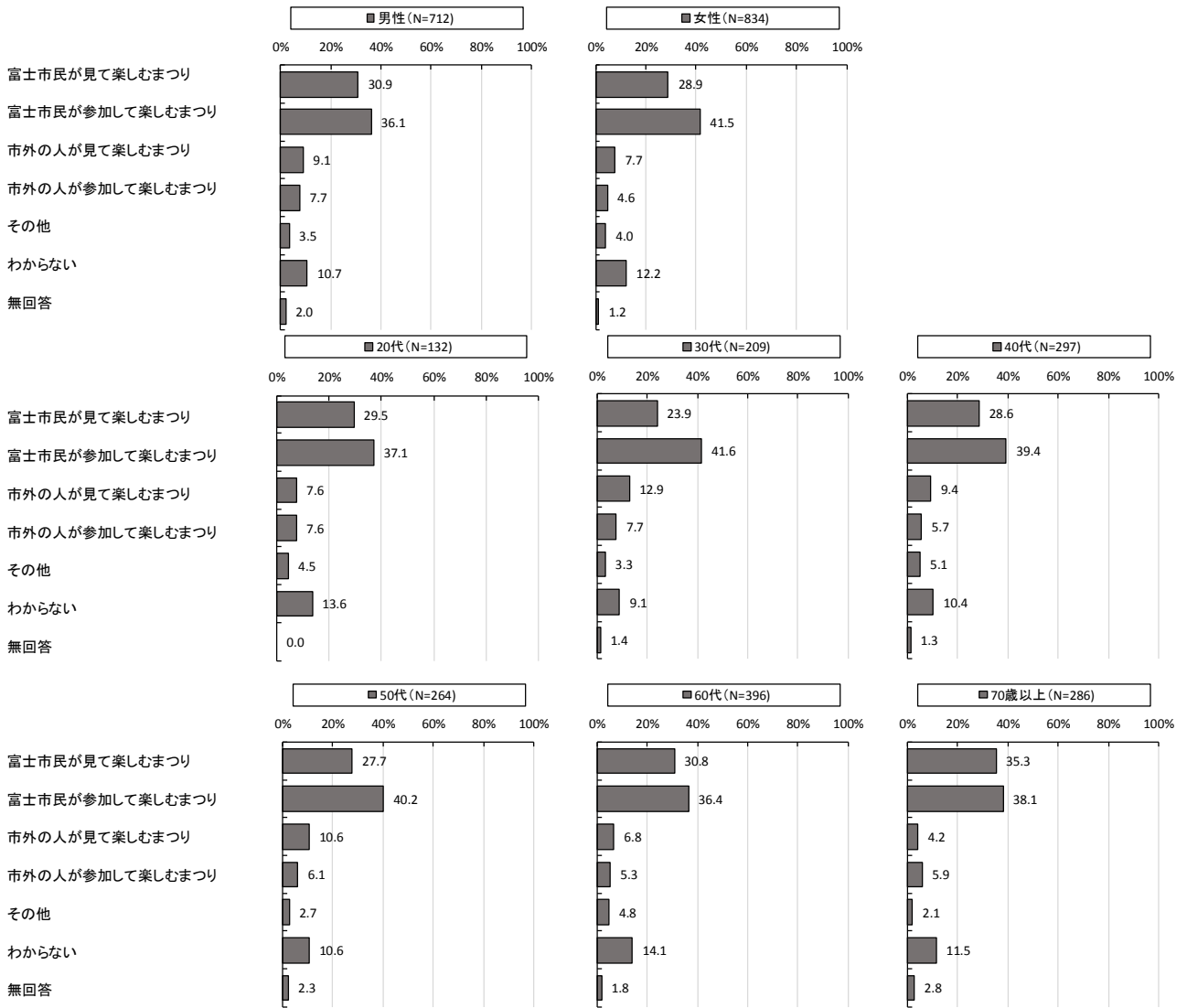
これからの「富士まつり」への考えについて尋ねたところ、「富士市民が参加して楽しむまつり」が最も高く 38.6%となっている。

男女別に見ると、「富士市民が参加して楽しむまつり」は男性が 36.1%、女性が 41.5%となり、女性が男性より 5.4 ポイント上回っている。

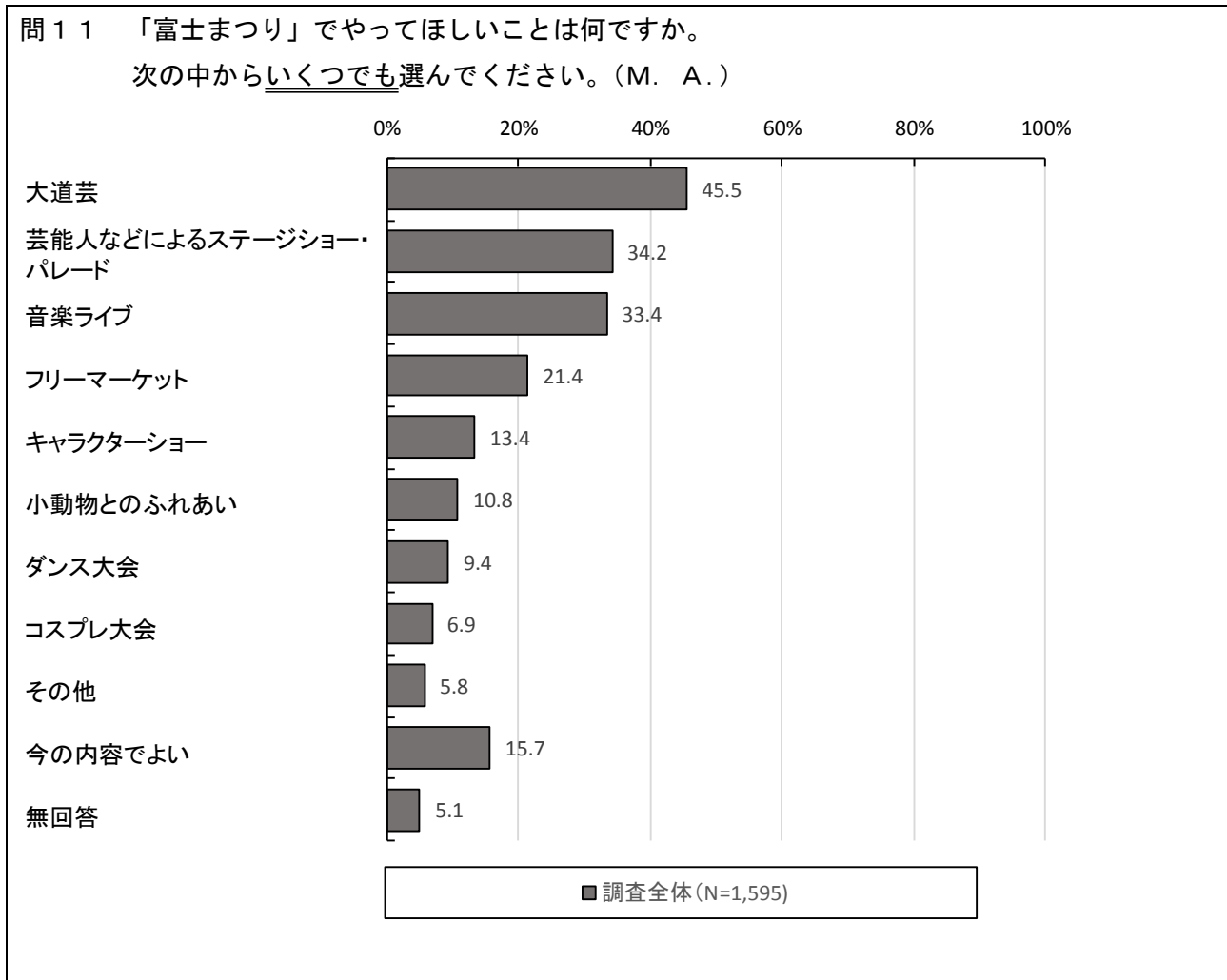
年代別に見ると、「富士市民が参加して楽しむまつり」は 30 代が最も高く 41.6%、次いで 50 代が 40.2%、40 代が 39.4%となっている。

IV 調査結果

【性別・年代別】



(13) これからやってほしいこと



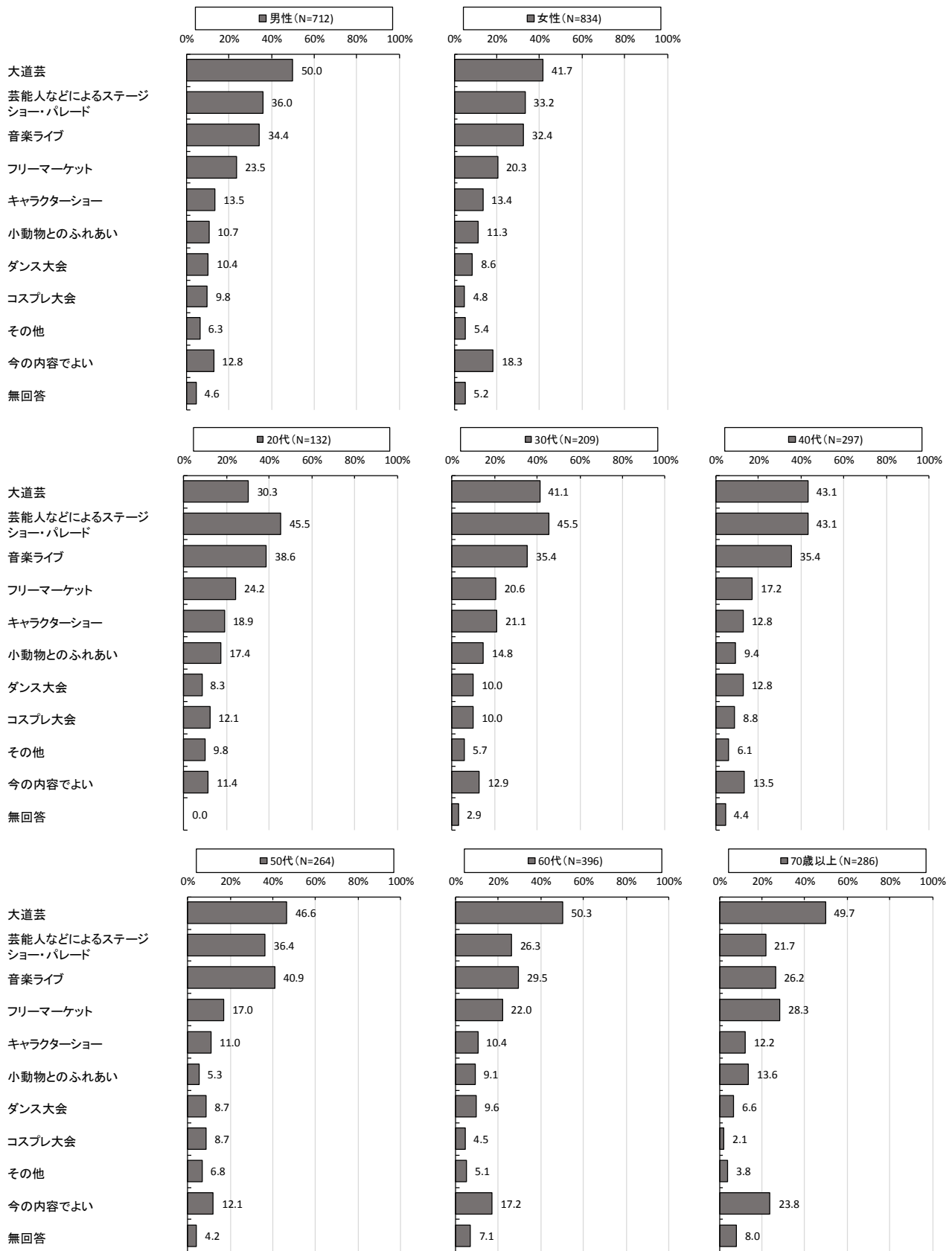
「富士まつり」でやってほしいことについて尋ねたところ、「大道芸」が最も高く 45.5%となっている。次いで、「芸能人などによるステージショー・パレード」が 34.2%、「音楽ライブ」が 33.4%と続いている。

男女別に見ると、「大道芸」は男性が 50.0%、女性が 41.7%となり、男性が女性より 8.3 ポイント上回っている。

年代別に見ると、50 代以上は「大道芸」が最も高くなっている。20 代・30 代は「芸能人などによるステージショー・パレード」が最も高くなっている。

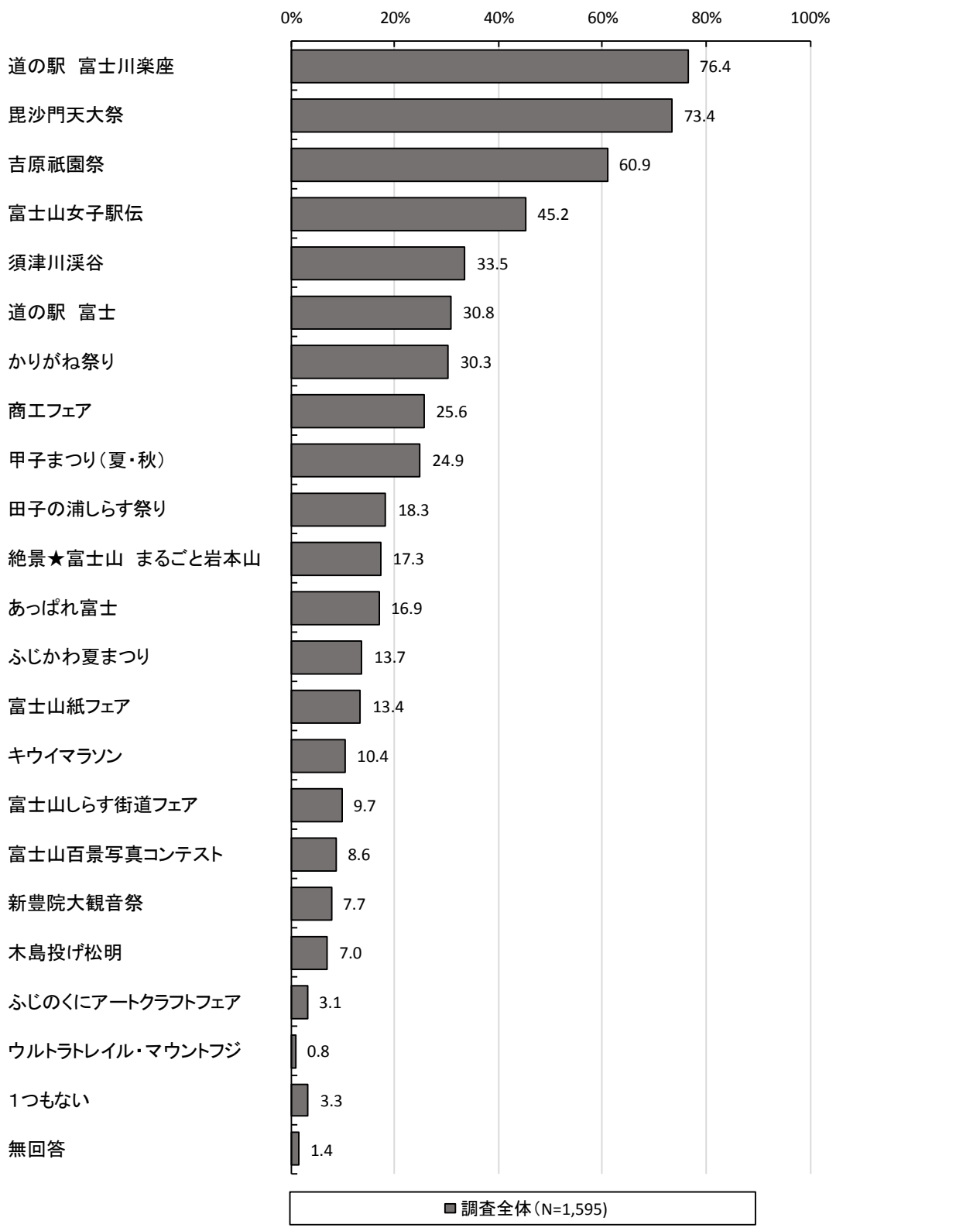
IV 調査結果

【性別・年代別】



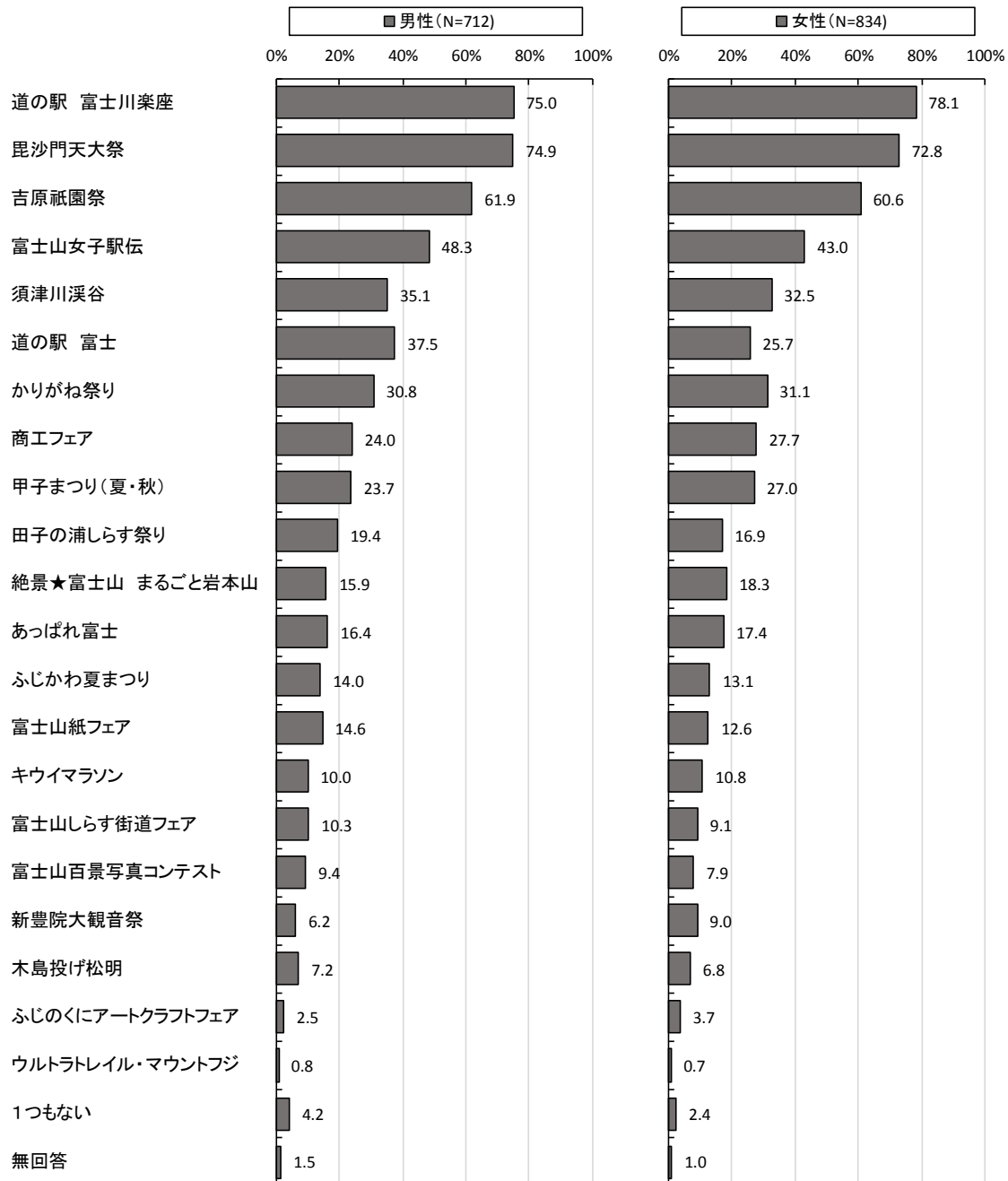
(14) 「富士まつり」以外のイベントなどの参加状況

問12 「富士まつり」のほかに、次の中にあげるイベント・行事・施設の中で、
あなたが行ったことがある・参加したことがあるものを、全て選んでください。(M. A.)

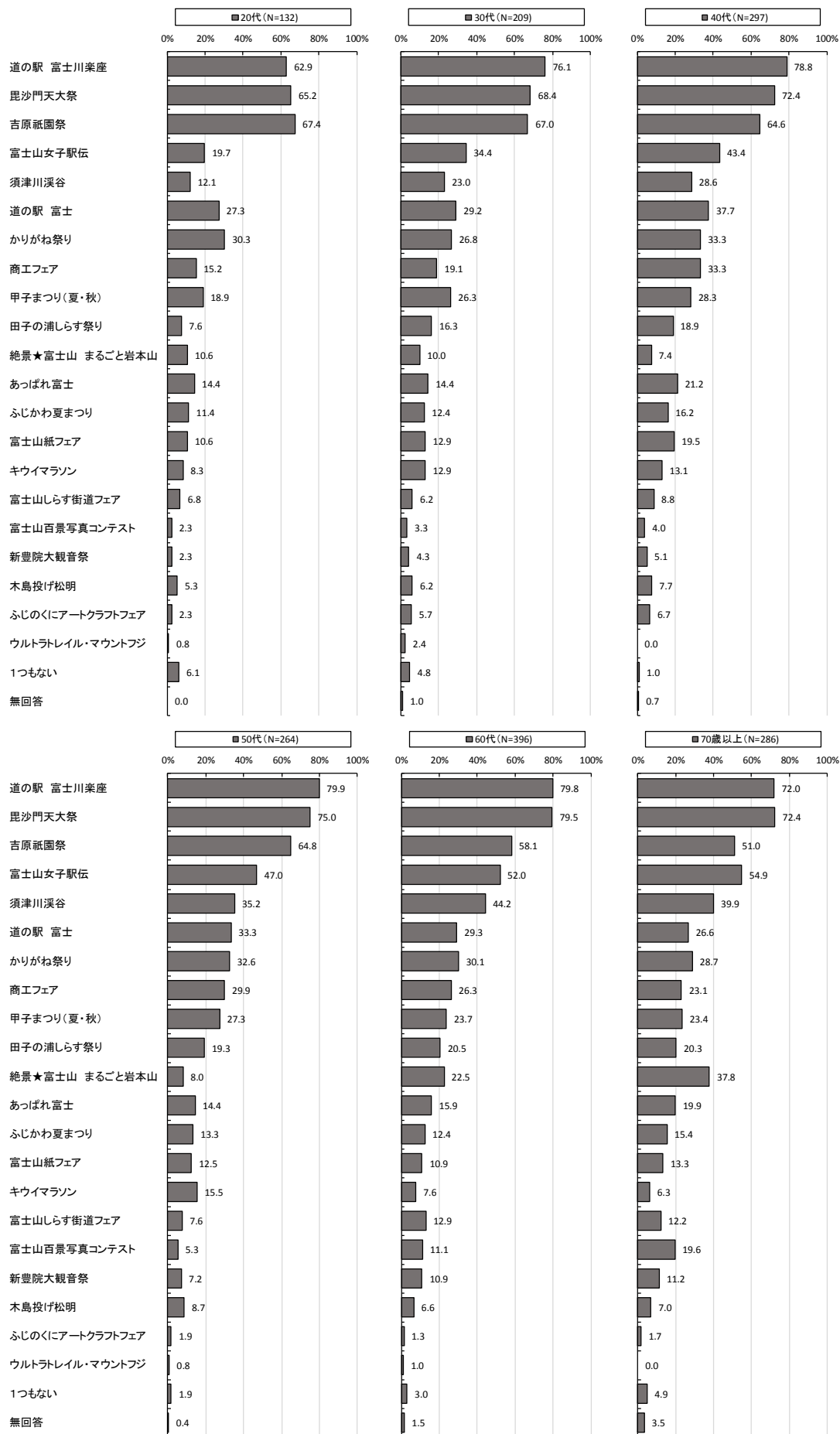


「富士まつり」のほかに行ったことがある・参加したことがあるイベント・行事・施設について尋ねたところ、「道の駅 富士川楽座」が最も高く 76.4%となっている。次いで、「毘沙門天大祭」が 73.4%、「吉原祇園祭」が 60.9%となっている。

【性別】



【年代別】

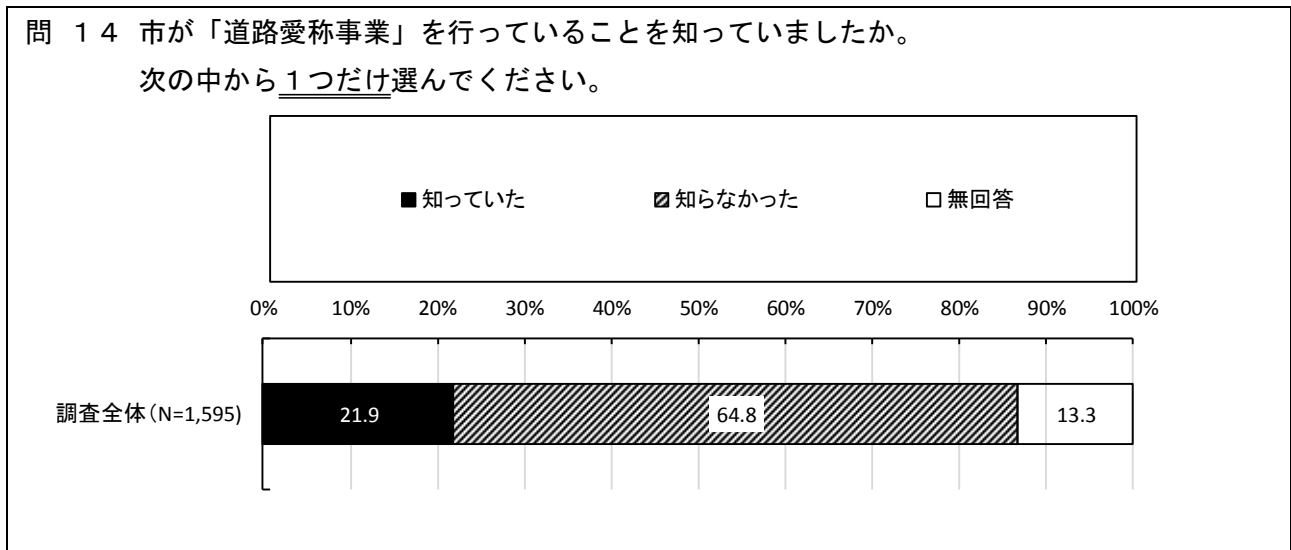


「道路愛称事業」について

(1) 「道路愛称事業」の認知度

問 14 市が「道路愛称事業」を行っていることを知っていましたか。

次の中から1つだけ選んでください。

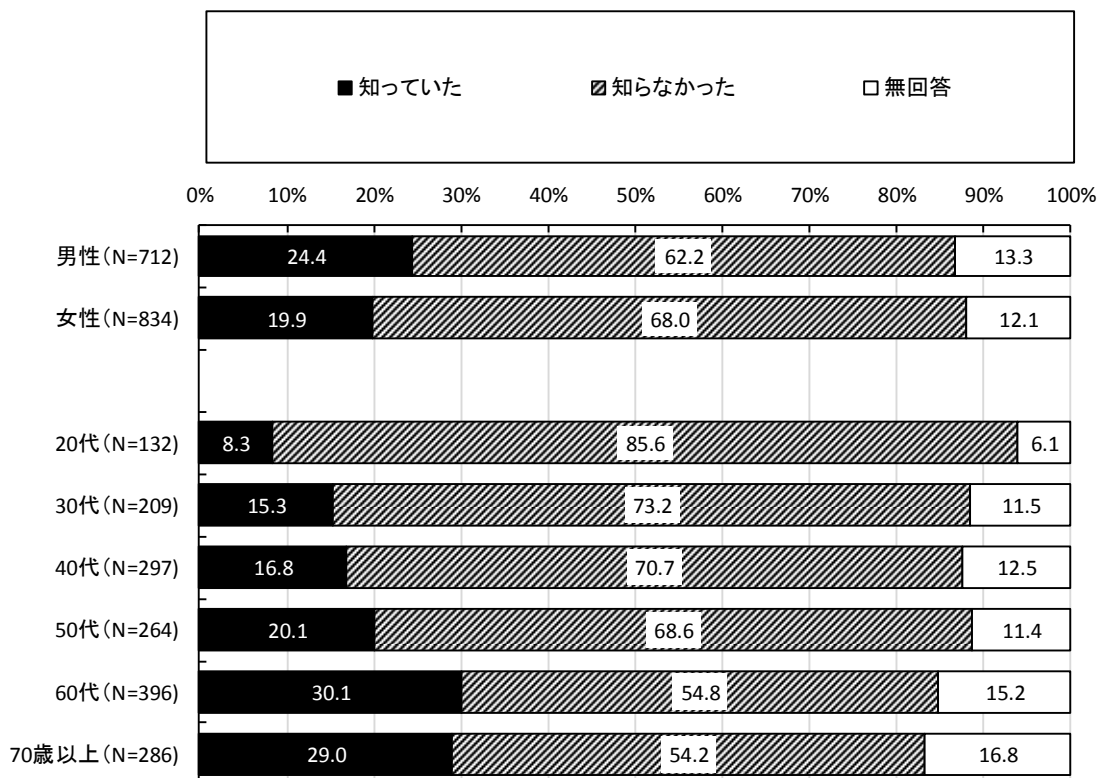


「道路愛称事業」の認知度について尋ねたところ、「知っていた」は21.9%となり、「知らなかった」は64.8%となっている。

男女別に見ると、「知っていた」は男性が24.4%、女性が19.9%となり、4.5ポイント男性が女性より高くなっている。

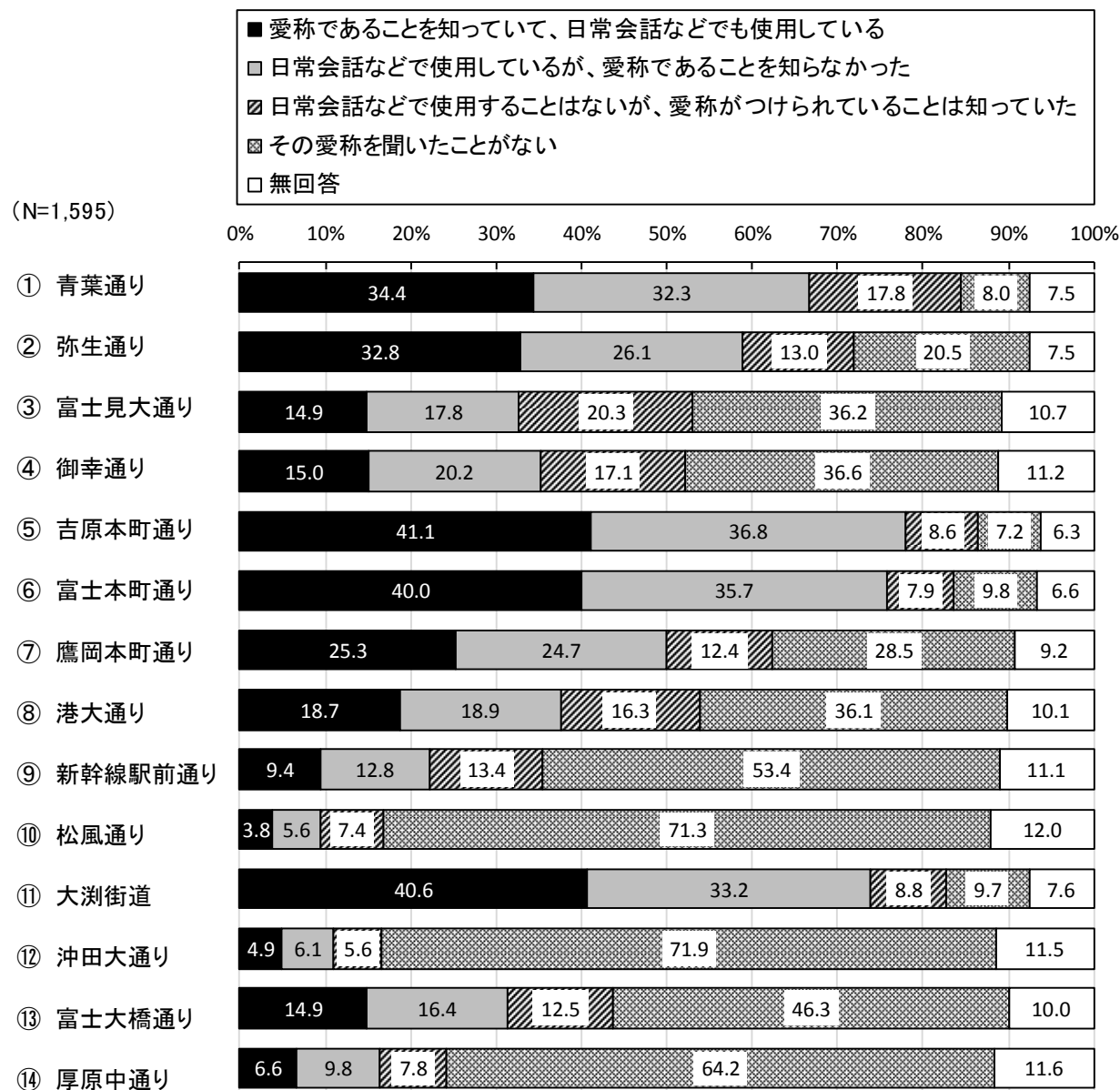
年代別に見ると、「知っていた」の割合は、60代が30.1%、70歳以上が29.0%と高くなっている。一方で、20代は8.3%にとどまり、道路愛称事業を実施した昭和60年代に生まれていなかった世代の認知度は低い。

【性別・年代別】



(2) 14路線の道路愛称について

問 15 富士市には、愛称のつけられた道路が14路線あります。それぞれの道路の愛称について、愛称であることを知っているか、また、日常会話などで使用しているか、4つの中から当てはまるものを1つずつ選んでください。



14路線の道路の愛称について尋ねたところ、「愛称であることを知っている、日常会話などでも使用している」が高いのは、「⑤吉原本町通り」が41.1%、「⑪大淵街道」が40.6%、「⑥富士本町通り」が40.0%となっている。一方、「その愛称を聞いたことがない」が高いのは、「⑫沖田大通り」が71.9%、「⑩松風通り」が71.3%、「⑭厚原中通り」が64.2%となっている。

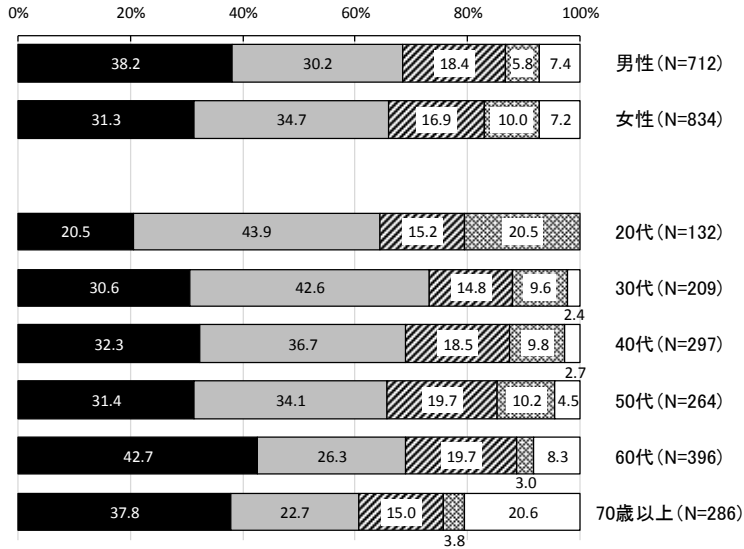
男女別に見ると、「愛称であることを知っている、日常会話などでも使用している」はどの路線でも男性が女性より高くなっている。

年代別に見ると、「愛称であることを知っている、日常会話などでも使用している」は、どの路線でも若年層より中高年層のほうが、高い傾向にある。

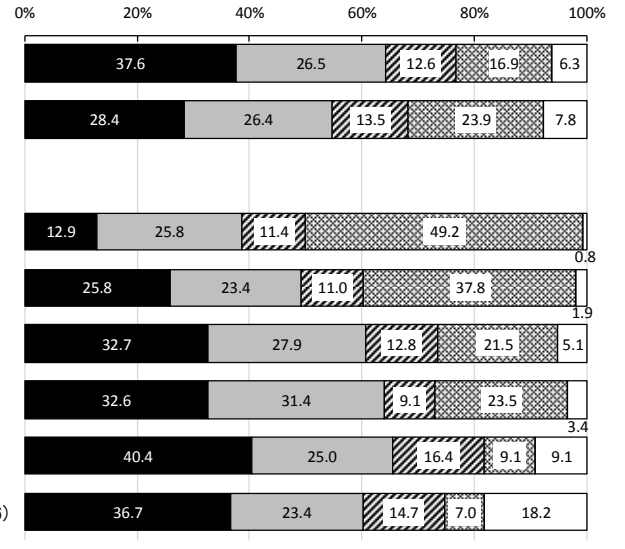
IV 調査結果

【性別・年代別】

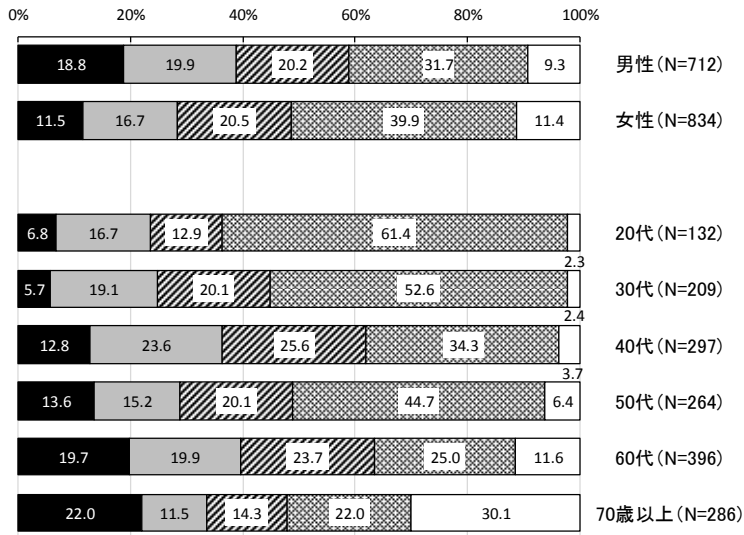
① 青葉通り



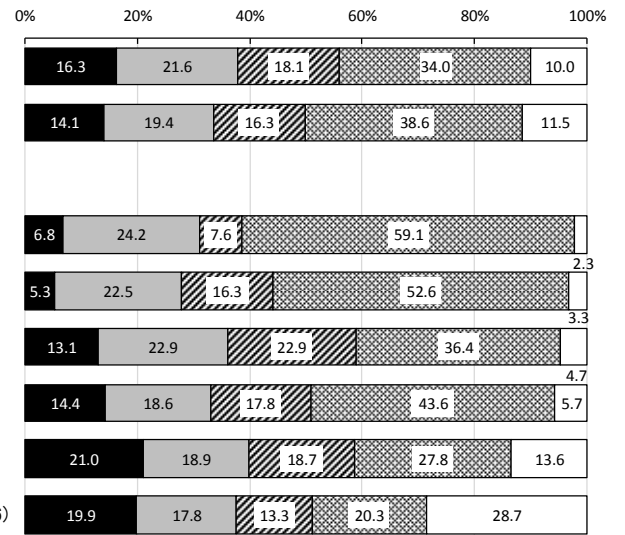
② 弥生通り



③ 富士見大通り

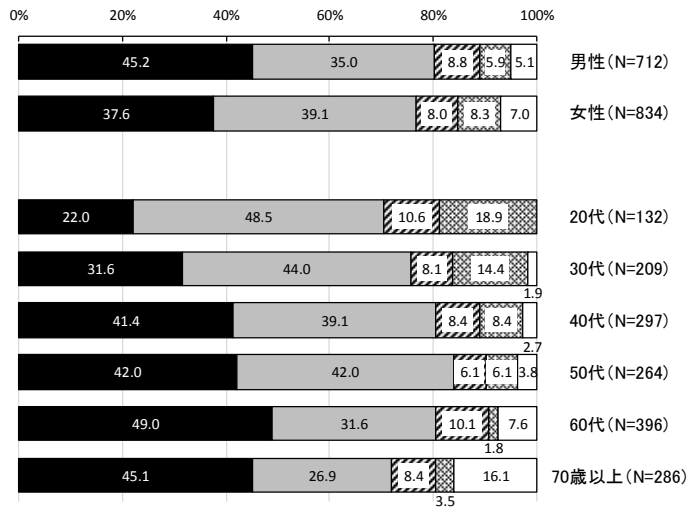


④ 御幸通り

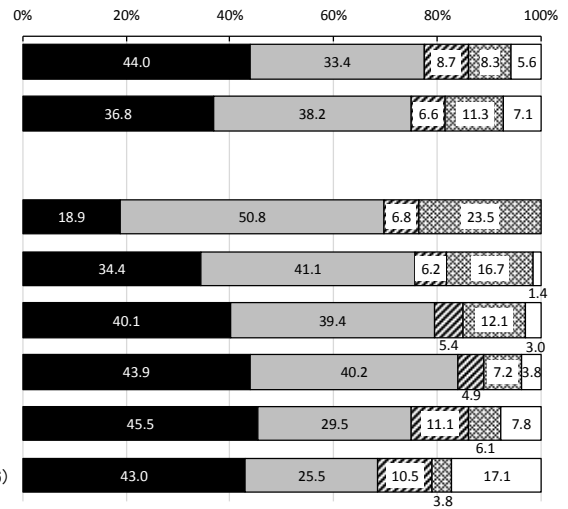


愛称であることを知っていて、日常会話などでも使用している
 日常会話などで使用しているが、愛称であることを知らなかった
 日常会話などで使用することはないが、愛称がつけられていることは知っていた
 その愛称を聞いたことがない
 無回答

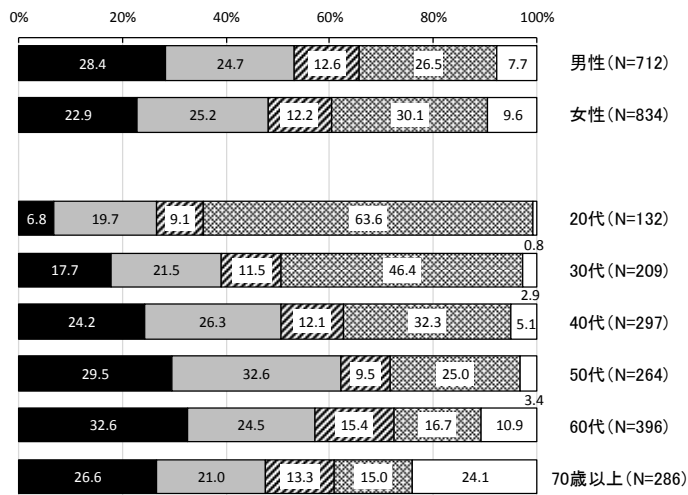
⑤ 吉原本町通り



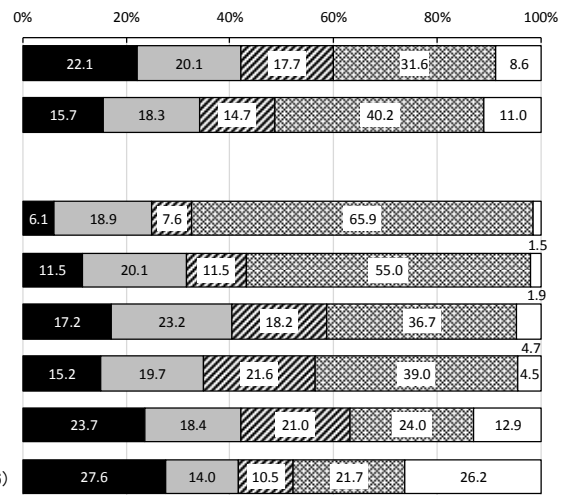
⑥ 富士本町通り



⑦ 鷹岡本町通り



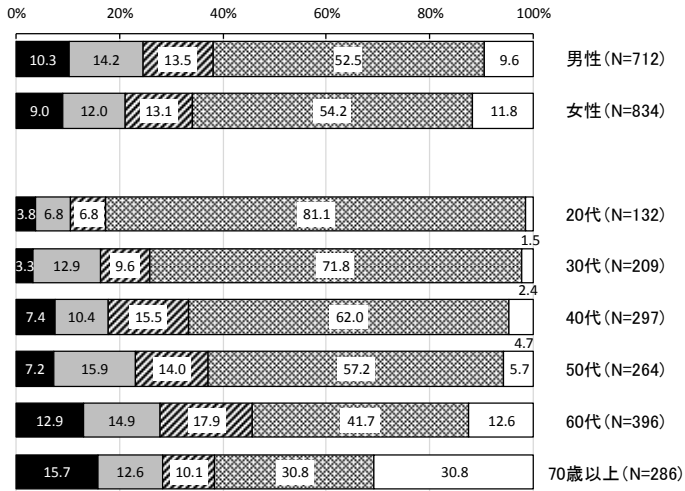
⑧ 港大通り



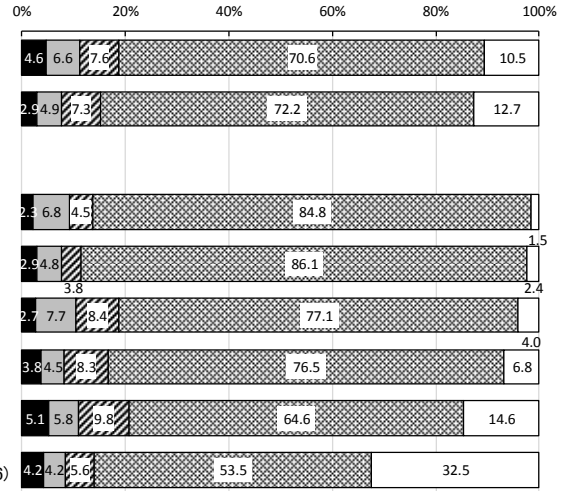
- 愛称であることを知っていて、日常会話などでも使用している
- 日常会話などで使用しているが、愛称であることを知らなかった
- ▨ 日常会話などで使用することはないが、愛称がつけられていることは知っていた
- ▩ その愛称を聞いたことがない
- 無回答

IV 調査結果

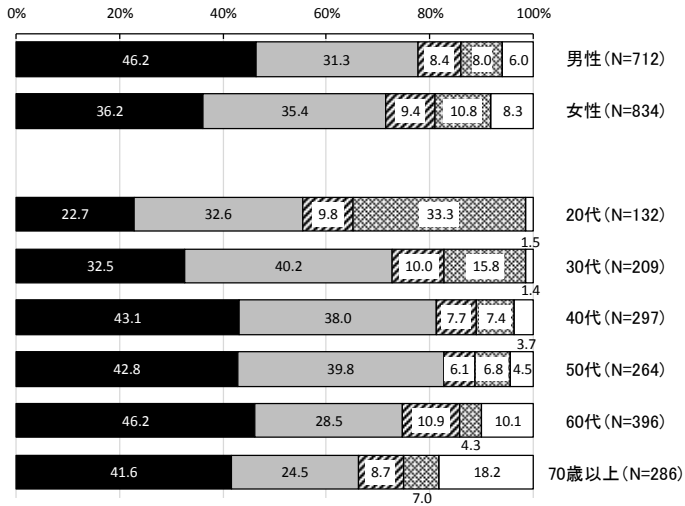
⑨ 新幹線駅前通り



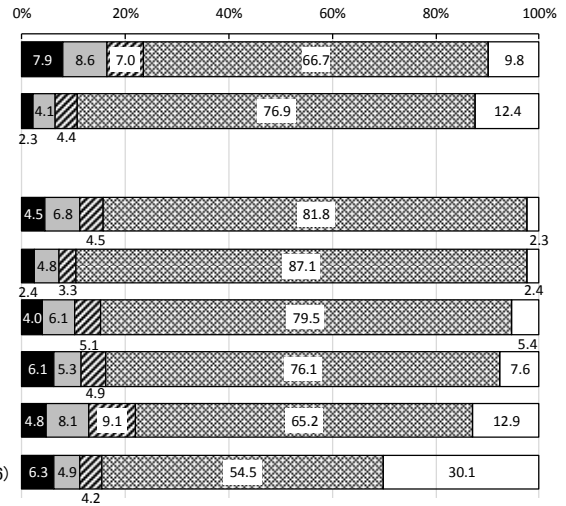
⑩ 松風通り



⑪ 大洲街道

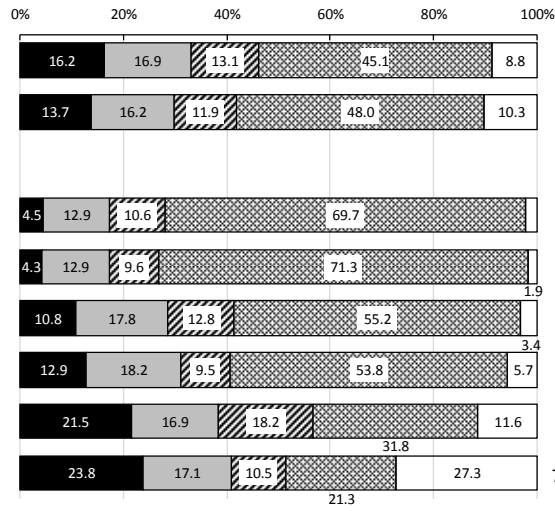


⑫ 沖田大通り

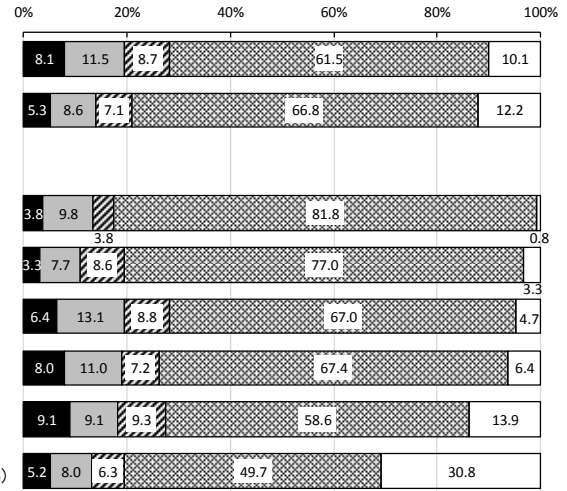


愛称であることを知っていて、日常会話などでも使用している
 日常会話などで使用しているが、愛称であることを知らなかった
 日常会話などで使用することはないが、愛称がつけられていることは知っていた
 その愛称を聞いたことがない
 無回答

⑬ 富士大橋通り



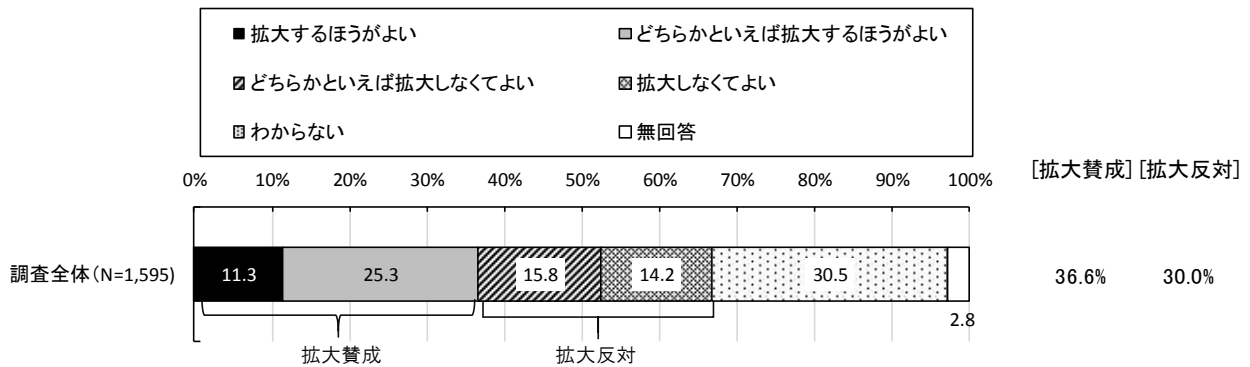
⑭ 厚原中通り



- 愛称であることを知っていて、日常会話などでも使用している
- 日常会話などで使用しているが、愛称であることを知らなかった
- ▨ 日常会話などで使用することはないが、愛称がつけられていることは知っていた
- ▩ その愛称を聞いたことがない
- 無回答

(3) 事業の対象拡大について

問 16 「道路愛称事業」の対象を拡大する（対象となる道路をふやす）ことについて、どのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

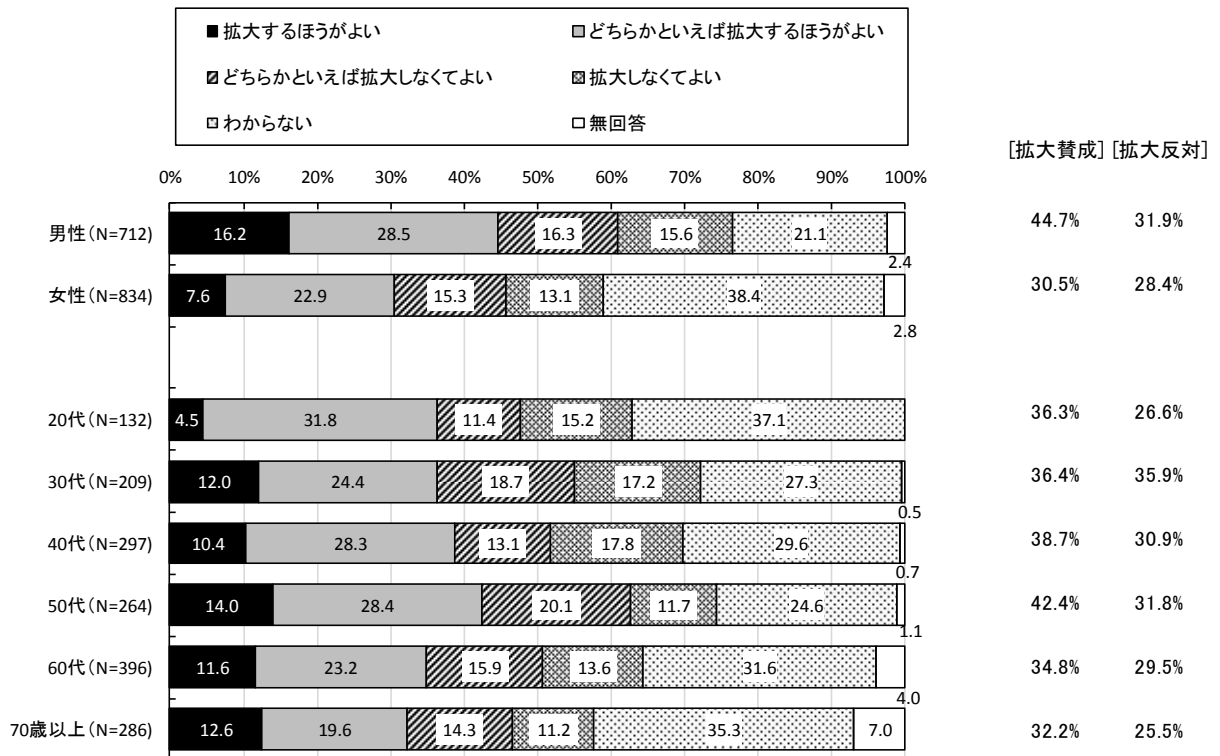


「道路愛称事業」の対象拡大について尋ねたところ、「拡大するほうがよい」11.3%と、「どちらかといえば拡大するほうがよい」25.3%を合わせた“拡大賛成”は、36.6%となっている。

男女別に見ると、“拡大賛成”は男性が44.7%、女性が30.5%となり、男性が女性より高くなっている。

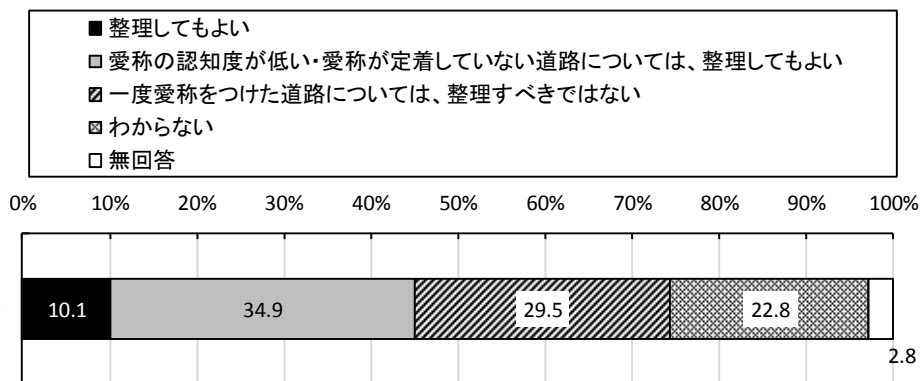
年代別に見ると、“拡大賛成”は50代が最も高く42.4%となっている。

【性別・年代別】



(4) 事業の対象整理について

問 17 「道路愛称事業」の対象を整理する（対象となっている道路を減らす）ことについて、どのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

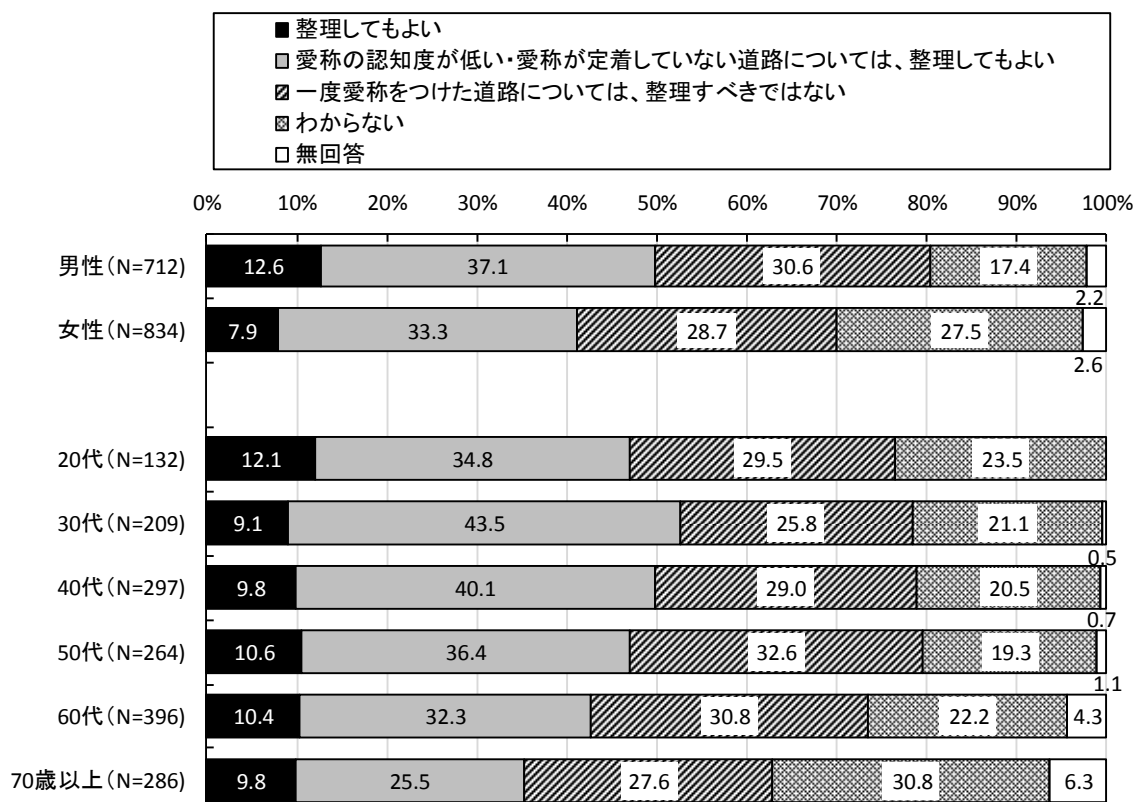


「道路愛称事業」の対象を整理する（対象となっている道路を減らす）ことについて尋ねたところ、「整理してもよい」が10.1%、「愛称の認知度が低い・愛称が定着していない道路については、整理してもよい」が34.9%となっている。一方、「一度愛称をつけた道路については、整理すべきではない」は29.5%を占めている。

男女別に見ると、「愛称の認知度が低い・愛称が定着していない道路については、整理してもよい」は男性が37.1%、女性が33.3%となり、「整理してもよい」とともに男性が女性より高くなっている。

年代別に見ると、「愛称の認知度が低い・愛称が定着していない道路については、整理してもよい」を含めた“整理してもよい派”は30代、40代で高くなっている。

【性別・年代別】



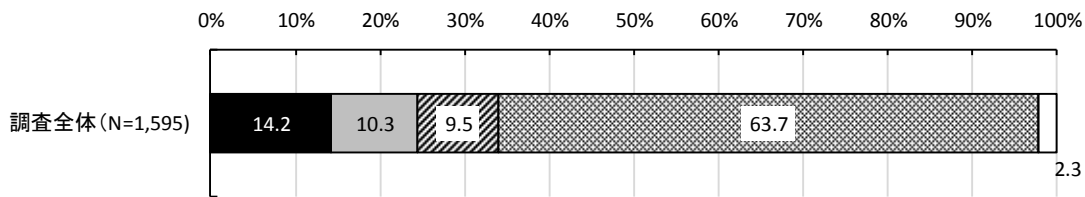
「道路施設ネーミングライツ」について

(1) 「ネーミングライツ」という言葉の認知度

問 19 「ネーミングライツ」という言葉を知っていますか。

次の中から1つだけ選んでください。

- 「ネーミングライツ」という言葉を知っていて、内容も理解している
- 「ネーミングライツ」という言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない
- ▨ 「ネーミングライツ」という言葉は知らなかったが、内容については知っている
- ▩ 「ネーミングライツ」という言葉を聞いたことがないし、内容もわからない
- 無回答



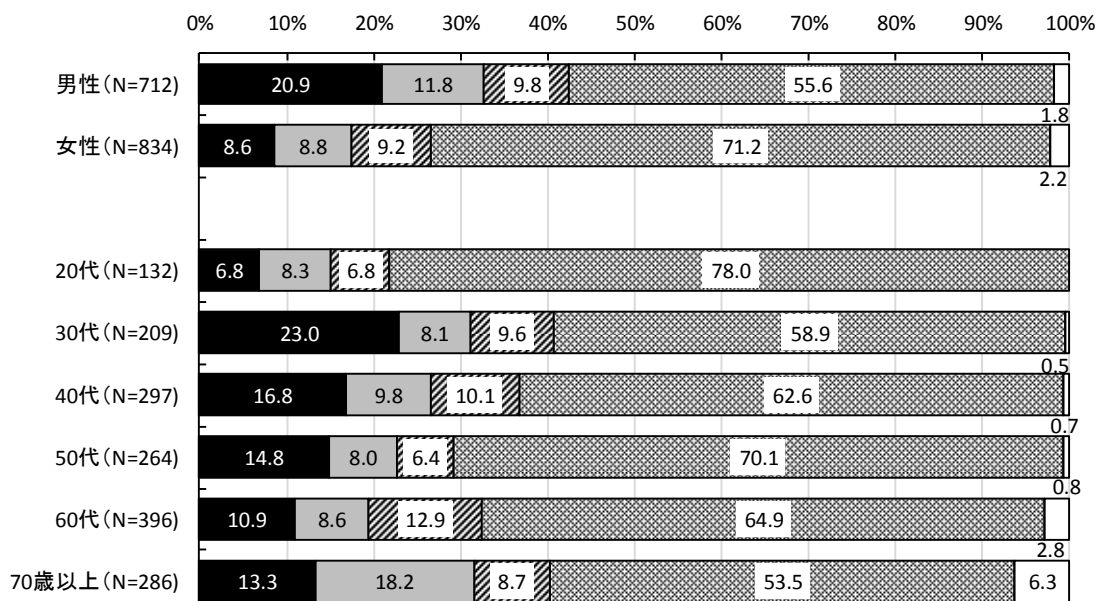
「ネーミングライツ」という言葉の認知度について尋ねたところ、『「ネーミングライツ」という言葉を知っていて、内容も理解している』は14.2%となっている。

男女別に見ると、「『ネーミングライツ』という言葉を知っていて、内容も理解している」は男性20.9%、女性8.6%となり、男性が女性より12.3ポイント高くなっている。

年代別に見ると、『「ネーミングライツ」という言葉を知っていて、内容も理解している』は30代が最も高く23.0%となっている。一方、20代は6.8%に留まっている。

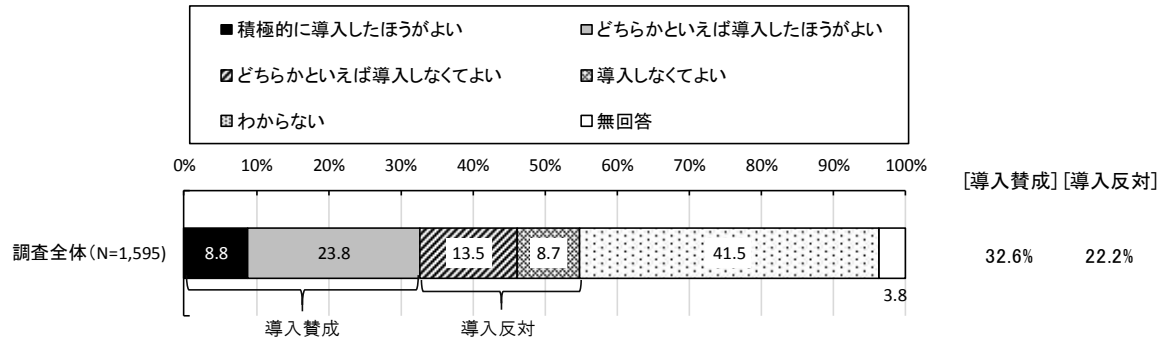
【性別・年代別】

- 「ネーミングライツ」という言葉を知っていて、内容も理解している
- 「ネーミングライツ」という言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない
- ▨ 「ネーミングライツ」という言葉は知らなかったが、内容については知っている
- ▩ 「ネーミングライツ」という言葉を聞いたことがないし、内容もわからない
- 無回答



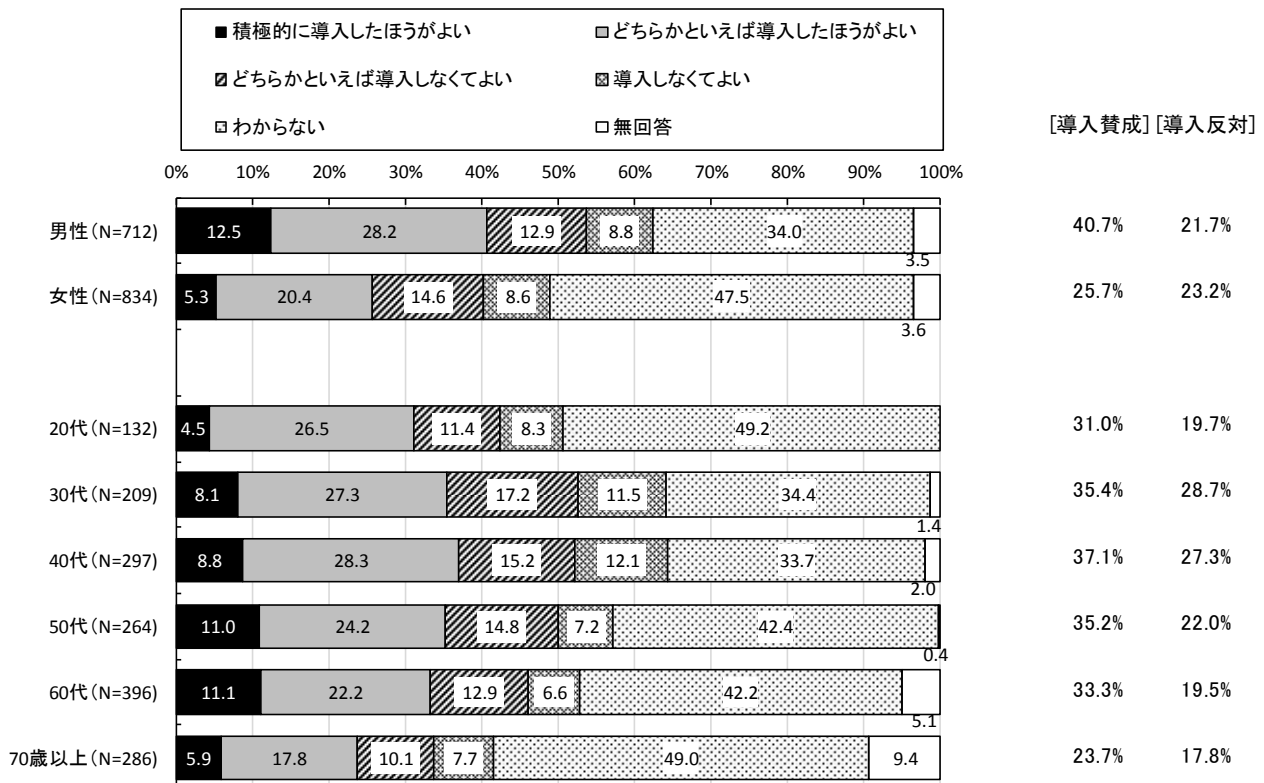
(2) 導入について

問 20 道路施設に「ネーミングライツ」を導入することについてどう思いますか。
次の中から1つだけ選んでください。



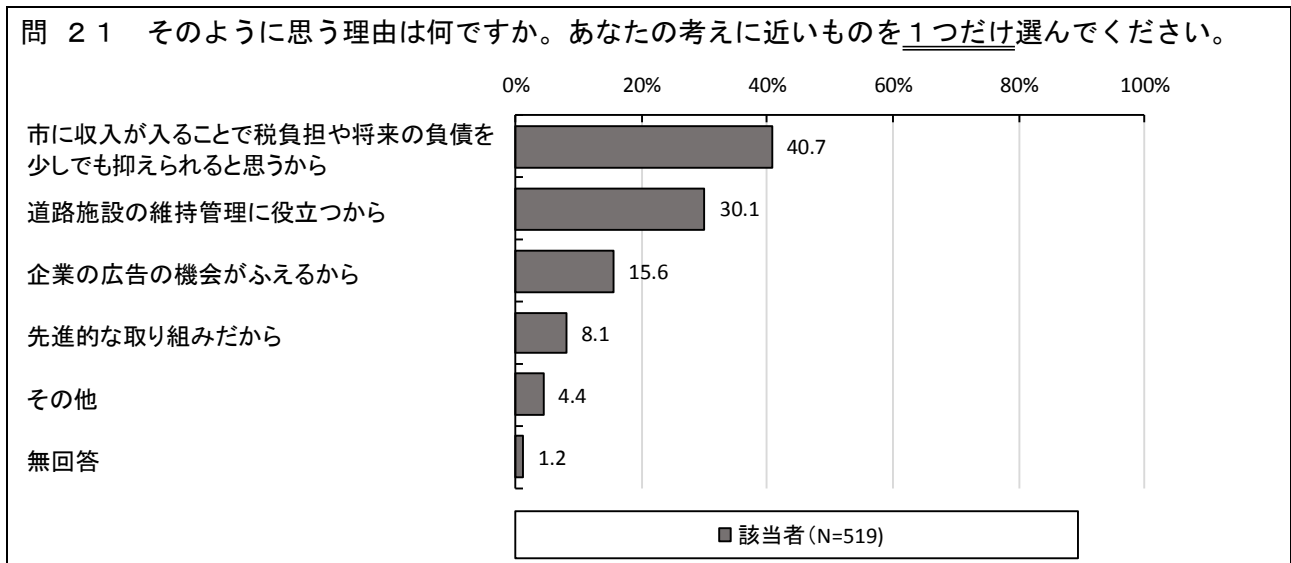
「ネーミングライツ」を導入することについて尋ねたところ、「積極的に導入したほうがよい」8.8%、「どちらかといえば導入したほうがよい」23.8%を合わせた“導入賛成”は、32.6%となっている。男女別に見ると、“導入賛成”は男性が40.7%、女性が25.7%となり、男性が女性より15.0ポイント高くなっている。年代別に見ると、“導入賛成”は40代が最も高く37.1%となっている。

【性別・年代別】



<問 20 で「1 積極的に導入したほうがよい」「2 どちらかといえば導入したほうがよい」と答えた方に質問します>

(3) 導入したほうがよい理由

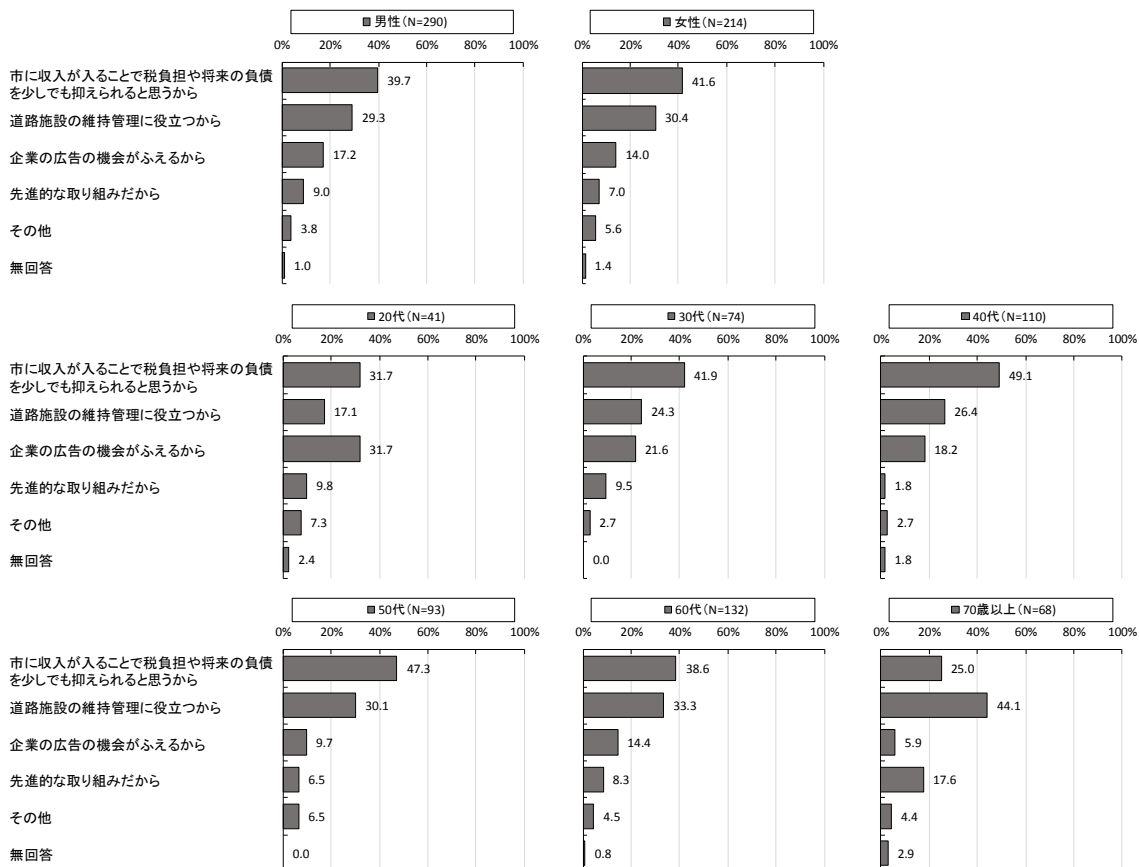


道路施設に「ネーミングライツ」を導入したほうがよい理由について尋ねたところ、「市に収入が入ることで税負担や将来の負債を少しでも抑えられると思うから」が40.7%となっている。

男女別に見ると、「市に収入が入ることで税負担や将来の負債を少しでも抑えられると思うから」が男性は39.7%、女性が41.6%となっている。

年代別に見ると、70代は「道路施設の維持管理に役立つから」が44.1%と最も高くなっている。

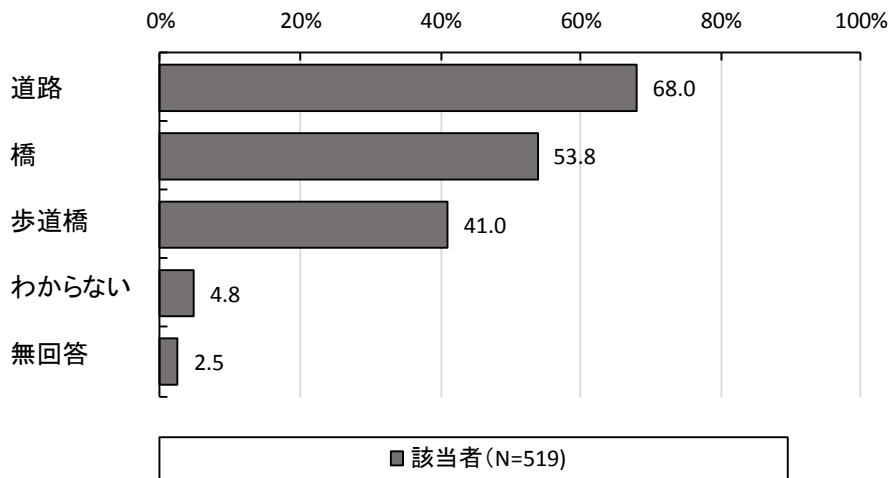
【性別・年代別】



＜問 20 で「1 積極的に導入したほうがよい」「2 どちらかといえば導入したほうがよい」と答えた方に質問します＞

(4) 導入したほうがよい道路施設

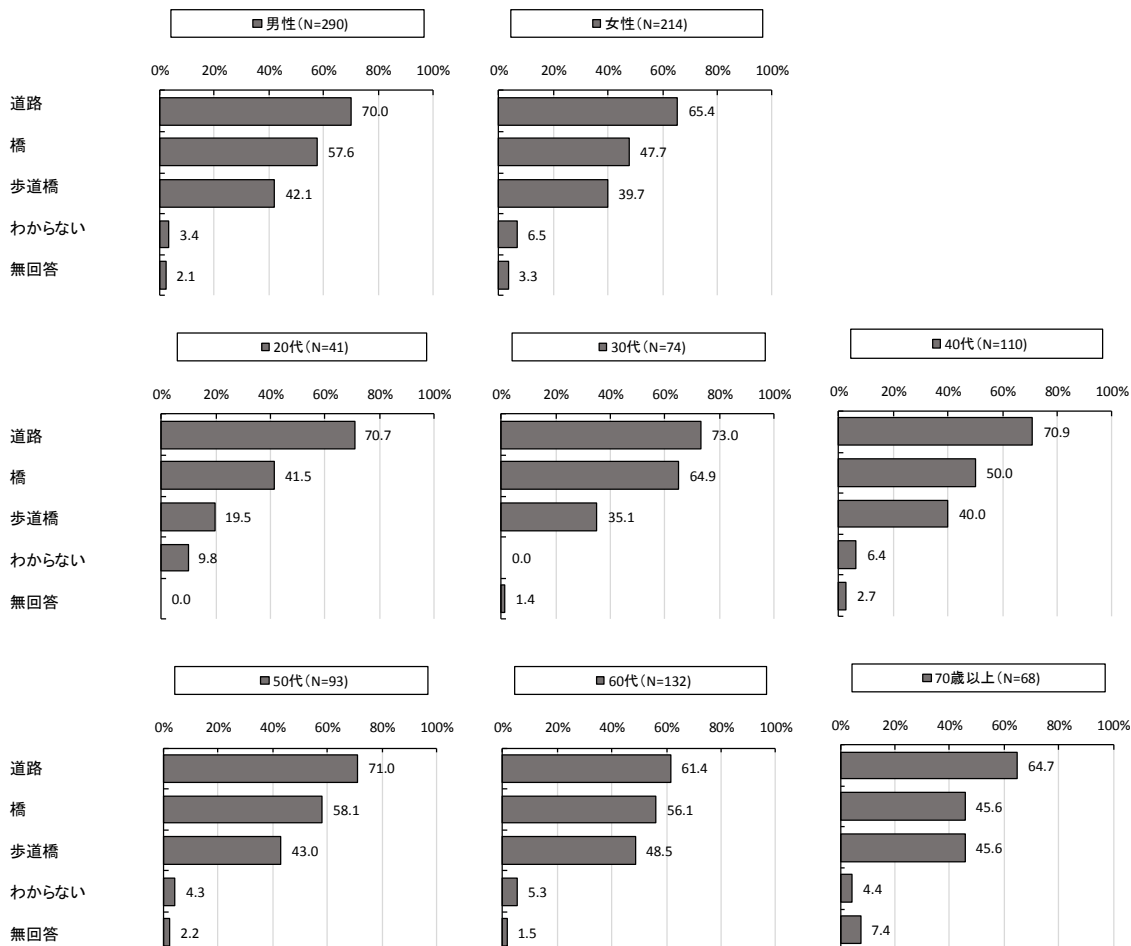
問 22 どの道路施設に「ネーミングライツ」を導入したほうがよいと思いますか。
導入したほうがよいと思う道路施設を全て選んでください。(M. A.)



「ネーミングライツ」を導入したほうがよいと思う道路施設について尋ねたところ、「道路」が最も高く 68.0%となっている。次いで、「橋」が 53.8%、「歩道橋」が 41.0%となっている。

男女別に見ると、「道路」「橋」「歩道橋」ともに男性が女性より高くなっている。

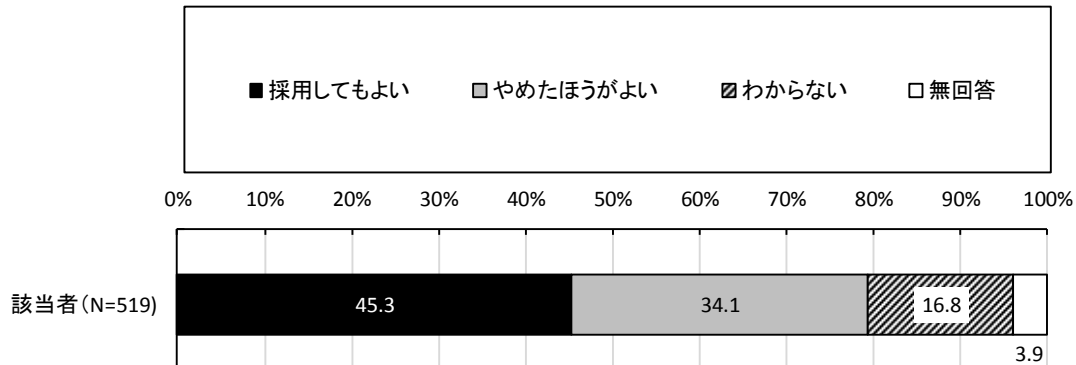
【性別・年代別】



〈問 20 で「1 積極的に導入したほうがよい」「2 どちらかといえば導入したほうがよい」と答えた方に質問します〉

(5) 別の「ネーミングライツ」を採用することについて

問 23 「ネーミングライツ」を採用した道路上にある歩道橋や橋に、「別のネーミングライツ」を採用することについて、どのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

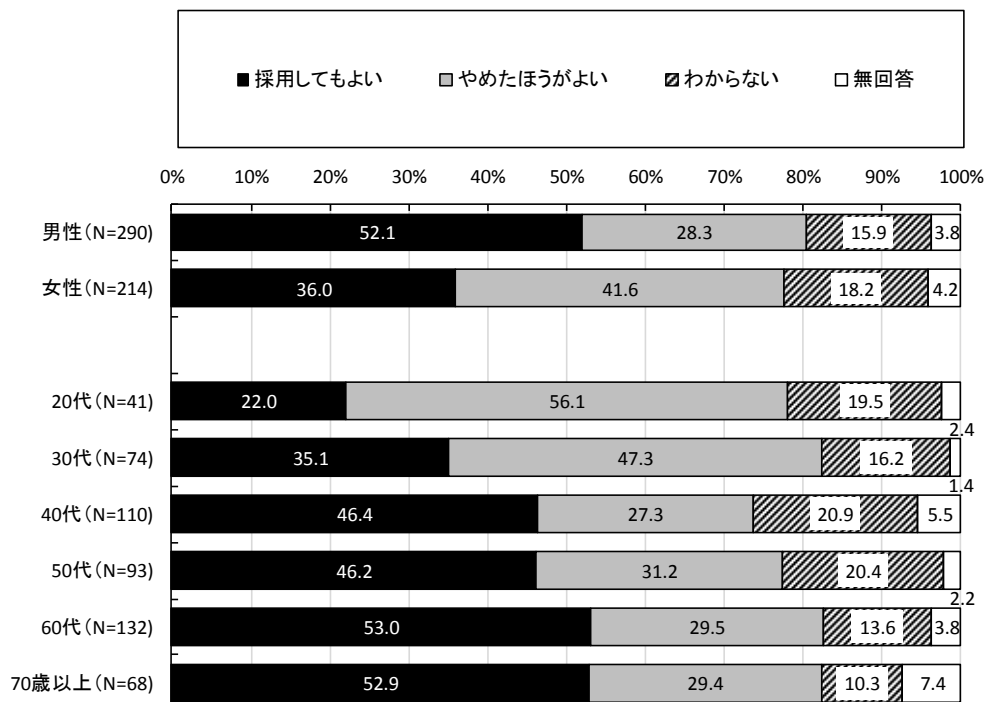


「ネーミングライツ」を採用した道路上にある歩道橋や橋に、「別のネーミングライツ」を採用することについて尋ねたところ、「採用してもよい」は 45.3%、「やめたほうがよい」が 34.1%となり、「採用してもよい」が高くなっている。

男女別に見ると、男性は「採用してもよい」が 52.1%と半数を占めているが、女性は「やめたほうがよい」が 41.6%となり「採用してもよい」と比べて高くなっている。

年代別にみると、「採用してもよい」は年代が高いほど割合が高くなる傾向にある。20代は「やめたほうがよい」が 56.1%と半数以上となっており、「やめたほうがよい」が高いのは 20代、30代となっている。

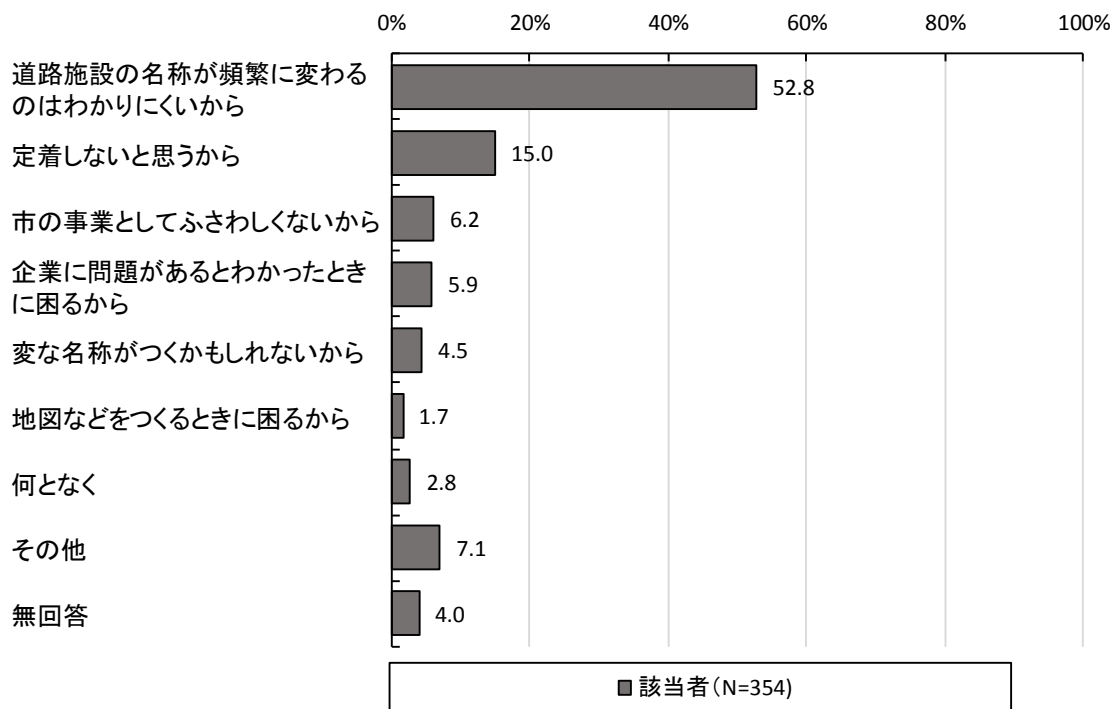
【性別・年代別】



<問 20 で「3 どちらかといえば導入しなくてよい」「4 導入しなくてよい」と答えた方に質問します>

(6) 導入しなくてよい理由

問 25 そのように思う理由は何ですか。あなたの考えに近いものを1つだけ選んでください。

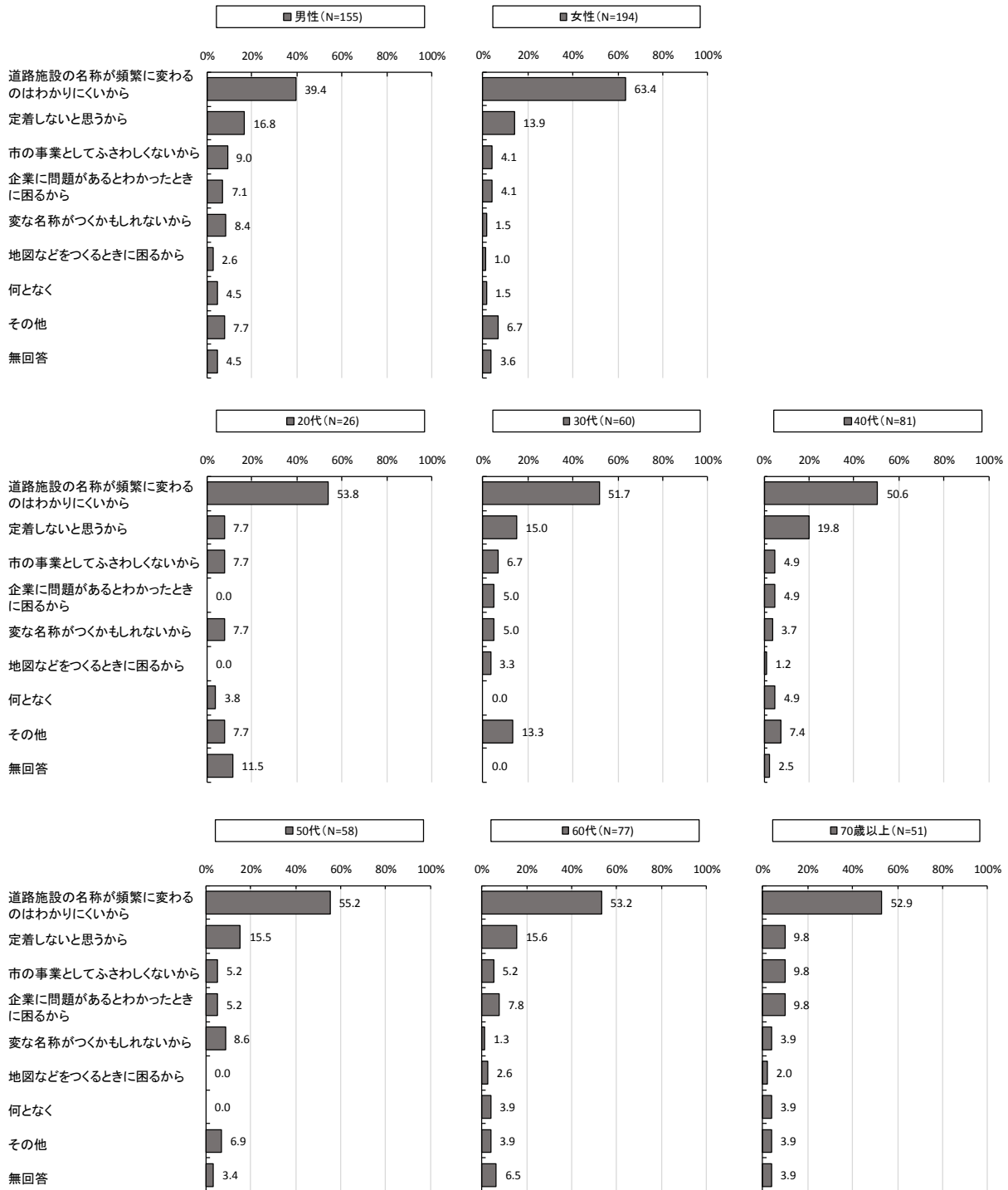


道路施設に「ネーミングライツ」を導入しなくてよい理由について尋ねたところ、「道路施設の名称が頻繁に変わるのわかりにくいから」が52.8%となっている。

男女別に見ると、「道路施設の名称が頻繁に変わるのわかりにくいから」は男性が39.4%、女性が63.4%となり、女性が男性より24.0ポイント高く、男女差が大きい。

IV 調査結果

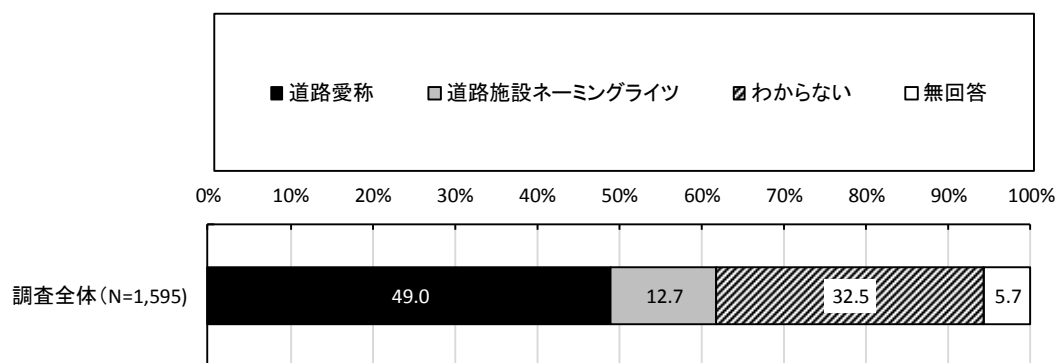
【性別・年代別】



「道路愛称と道路施設ネーミングライツの関係」について

(1) 呼び名の優先度

問 26 道路に呼び名をつける場合、「道路愛称」と「道路施設ネーミングライツ」のどちらを優先すべきだと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

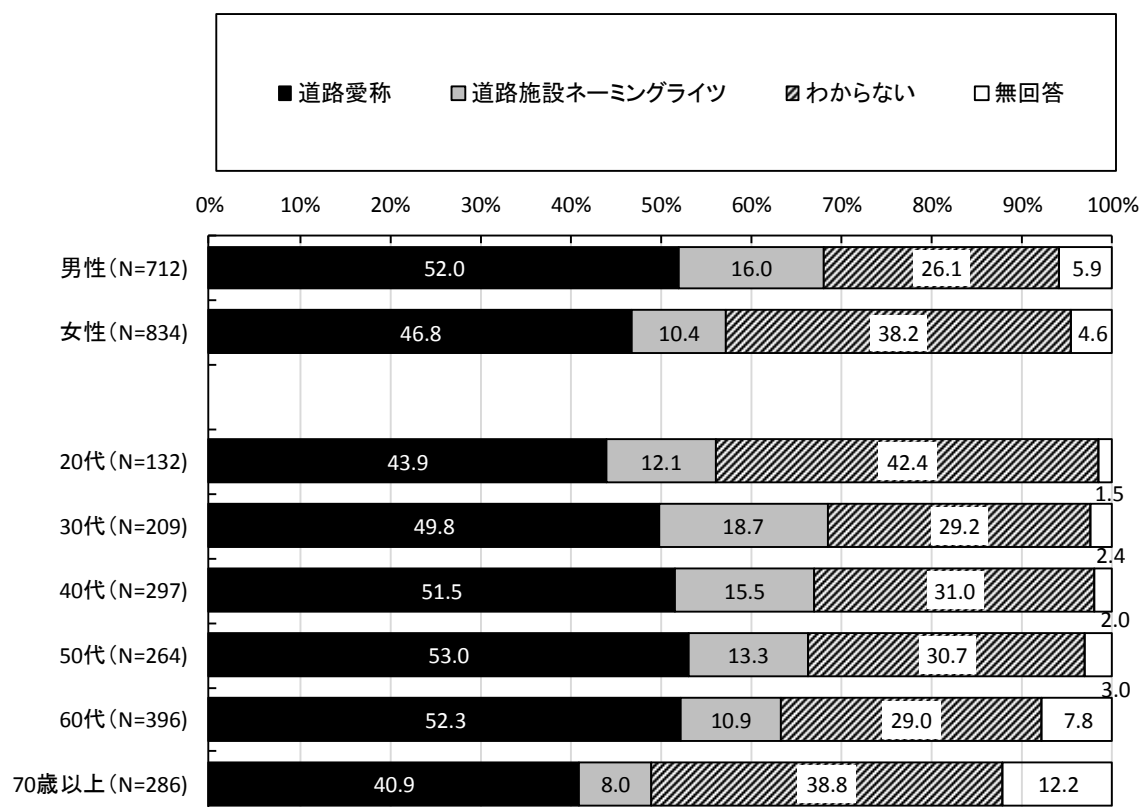


道路に呼び名をつける場合、「道路愛称」と「道路施設ネーミングライツ」のどちらを優先すべきか尋ねたところ、「道路愛称」が 49.0%、「道路施設ネーミングライツ」が 12.7%となり、「道路愛称」が高くなっている。

男女別に見ると、「道路愛称」は男性が 52.0%、女性が 46.8%と、男性が女性より 5.2 ポイント高くなっている。

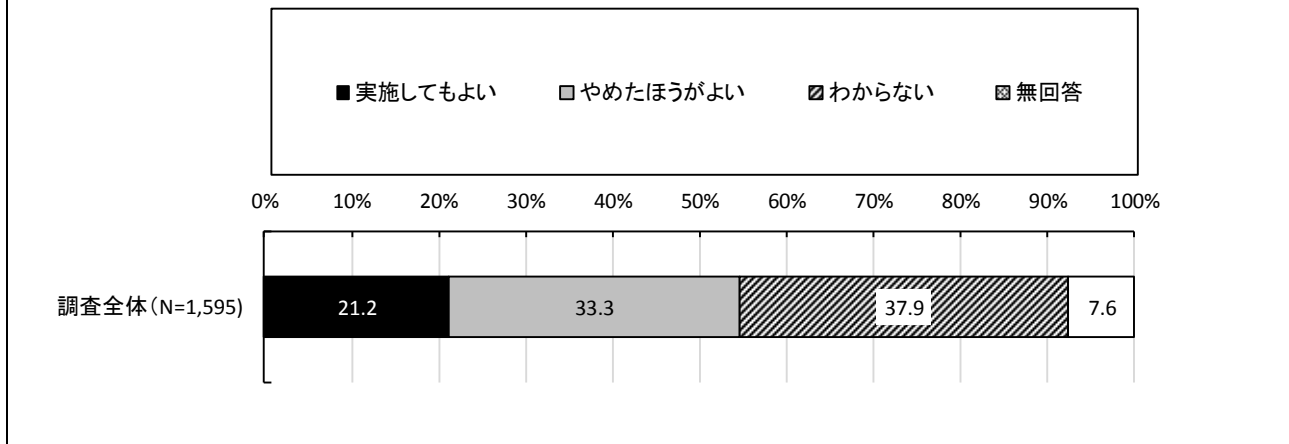
年代別に見ると、「道路愛称」は 50 代が最も高く 53.0%、次いで 60 代が 52.3%、40 代が 51.5%となっている。

【性別・年代別】



(2) 「道路愛称」と「道路施設ネーミングライツ」両方の実施について

問 27 既に「道路愛称」を採用している道路（14路線）に、「ネーミングライツ」を採用することがあった場合、どのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。



既に「道路愛称」を採用している道路に、「ネーミングライツ」を採用することについて尋ねたところ、「実施してもよい」は21.2%、「やめたほうがよい」は33.3%となり、「やめたほうがよい」が高くなっている。

男女別に見ると、「やめたほうがよい」は男性が37.2%、女性が30.6%となり、男性が女性より6.6ポイント高くなっている。

年代別に見ると、「やめたほうがよい」は30代が最も高く42.6%、次いで40代が42.4%、20代が40.2%と若年層が高くなっている。

【性別・年代別】

